大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
大正十五年十二月一日發行 同年十一月廿八日納本

無產階級戰鬪雜誌

進め

第四年・十二月・第十二號

定價十錢

誌代一年分拂込者にマルクス大寫眞を、無代贈呈す

■本號一瞥■

□十五年を送る……卷頭言
□時事論評……同人
□國民の話……澤井龍之助
□法的制裁の研究……布施辰治
□(端書回答)無產政黨の批判と希望……學者・社會運動家思想家三十二名
□英國の勞働運動……淺野研眞

全土戰報

□警官と演說會……倉澤喜美男
□僞善的實費診療所……I・H生
□戰雲漲る江州彥根……西山文策
□法律の使ひ分け……倉本晃南
□支配者の恐怖……赤木嶺
□悲鳴而して絶命……佐根泰夫
□聲明書……關東水平社
□兄弟に訴ふ……淺川國雄
□忠犬の暴言……實・白
□反動ゴロの迷論……小野貞次郎
□小作法案を評す……神庭仲之介
□殖民政策裏面研究……金熙明
□社會進化の必然性……小森善逸
□有閑婦人と女工の生活……岡安愛子
□(社會小說)將校と巡査……吉田源藏
□日本進化の過現末……工藤勝市
□社會主義講話……石川準十郎

愈々好評・至急一本を備へよ!!!

第十版
社會思想家寫眞集
本社編纂 一部五拾錢 送料四錢
內容
サンシモン、フーリエ、オーエン、プルードン、マルクス、バクーニン、エンゲルス、ウヰルヘルム・リープクネヒト、カール・リープクネヒト、クロポトキン、ラツサール、レーニン、トロツキーの拾三枚。四六倍版アート紙で極めて美麗。

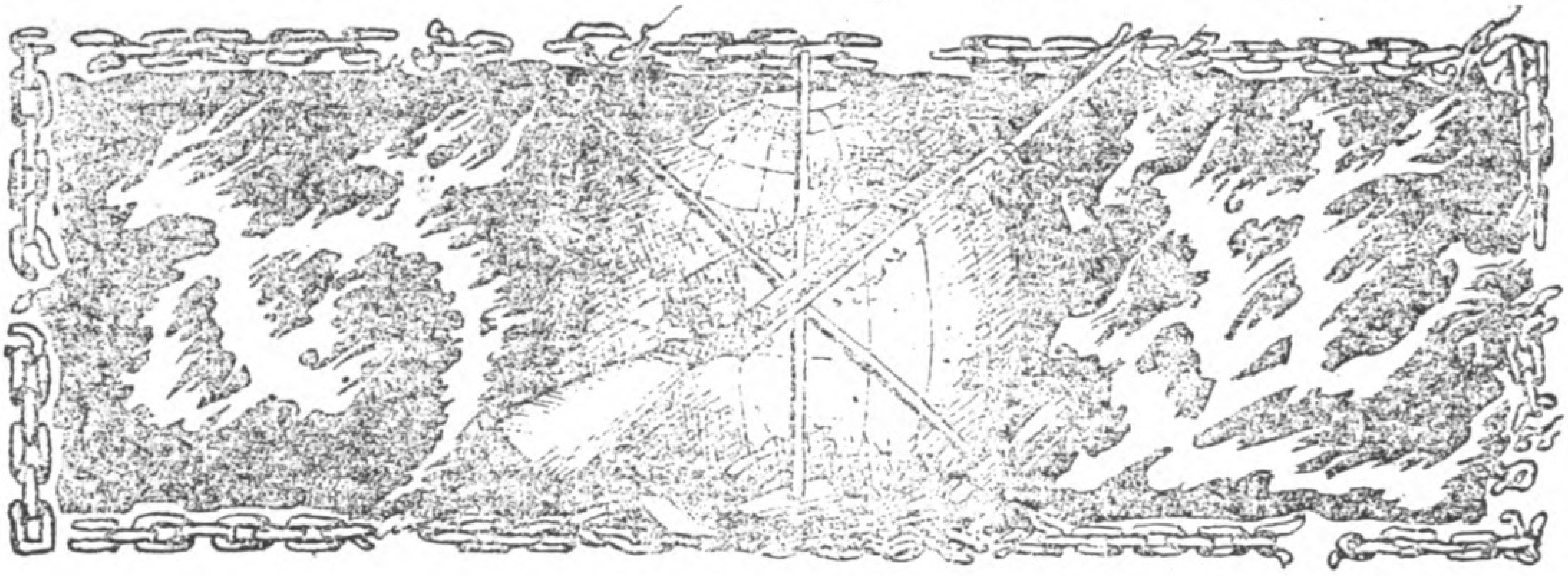
第九版
マルクス寫眞集
本社編纂 一部五拾錢 送料四錢
內容
マルクスの生家、マルクス夫人、マルクスの原稿、マルクスの博士免狀、マルクスの署名、マルクスの旅行免狀、ロンドン亡命中のマルクス、ロンドンに於けるマルクスの住宅、資本論執筆時代のマルクス、晚年のマルクス、マルクスの墓の十一枚。四六倍版アート紙で極めて美麗。

第五版
日本勞働運動小史
淺野研眞述
四六版百三十頁 定價五拾錢 送料四錢
內容
明治大正を通じての日本に於ける勞働者解放運動の全分野に涉つて、細大洩らさず、僅か百三十餘頁の內に收めた手頃なパンフレツトである。尙は卷末に附せられたる統計、文獻、年表は、用意周到な貴重なものだ。苟も日本プロレタリア運動の史的背景を知らんとする者は必ず一本を備ふべきだ!

進め・メダル
一ヶ實費 金貳拾錢
新裝を凝らせる進め讀者メダルは澗くが如き好評を得て、其の申込日々五拾を下らず爲に再製の必要に追はれつゝある有樣である。銀のイブシで勞農兵團結を表象し戰鬪氣分の充滿せるものである。本誌の支局及び讀者諸君は必ず一ヶを其の胸間に吊せ!

マルクス寫眞無代贈呈
第二十五版出來
送料共參拾貳錢
コロタイプ寫眞版丈一尺五寸巾九寸
マルクスは科學的社會主義の鼻祖にして無產階級永遠の恩人である。我社は之れを永久に記念すべく獨逸より原板を取寄せ復寫して廣く讀者に配布してゐる誌代一ヶ年分前納せし讀者には無代で贈呈するから至急申込まれたし。

萬國の無產者團結せよ



第四年 戰鬪・藝術・雜誌 第十二號

■十五年を送る■

■將に逝かうとする大正十五年は、二個の指導精神が、わが國無產階級運動の戰線に互に鎬を削つて鬪つた年であつた。

■いやしくも、指導精神と稱する以上は、無產者解放への最善の努力を鼓吹したものでなくてはならぬ徒らに、狂噪性を帶びた小兒病者の態度では決して無產者階級解放の正當な指導精神だと云ふ事は出來ぬ。實際を知らぬ他國の指金で動いたり、それをそつくり適用せんとするが如きもその部類だ。況んや其の現實を無視した指導精神を神聖なものとして祭り上げ、これを禮拜せざる社會運動者組合を葬らんとし、コソ〳〵泥式に內部に渡りをつけ、味方の陣營をマゼ返さんと企むにおいておやだ。

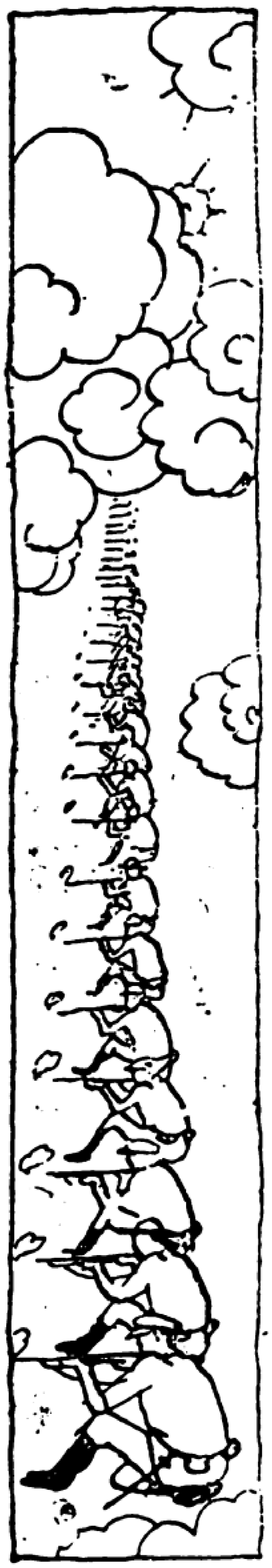
■亦、無產者の歷史的使命を忘却して、たゞ目前の小事に拘泥し乍ら、其れに附するに美しき指導精神の衣をもつてするのも前者と同一である。

■指導精神は無產階級に忠なるものでなくてはならぬ。コソ〳〵泥式に組合を乘取り、分裂させ、その卑怯な方法によつて社會運動を攪亂し、辛うじて、「神聖」なる指導精神を確立せんと圖るが如きでは無產階級の信賴して可なる指導精神とは決して謂はれ得ないではないか。

■コソ〳〵泥的によつて、漸く命脈をつなぐ樣な貧弱な指導精神によつて支配され、掻廻される日本社會運動はまだ〳〵練磨する必要がある。

■大正十五年を送る。

時事評論



同人

組合主義の闘争

吾々は今年中に於ける評議會や總同盟の運動を考察する時、革命的と稱す評議會も、現實主義と云ふ總同盟も、等しく現實主義の範圍を一歩も出でないものであると思ふ。

革命的であると稱する評議會の何處が××的であるか。彼等の行ひつゝある所謂××的運動と、總同盟の行ひつゝある所謂現實的運動との間に果して幾許の間隔があらうか。兩者の抱持してゐる指導精神及び運動方針の根本的要素を比較して見る時其の間寸毫も異つた點はなく、同じ組合主義以外の何ものでもない事が明かである。其の異らざるものに對して××的であるとか現實主義であるとかの分劃論を設くる等は吾々の不可解とする所である。畢竟何れも同じ穴の貉であると斷定して些かの誤りもない。

然しながら評議會は日本共産黨を背景としてゐる。而して共産黨の命に忠實なること恰も王者に對する奴隷の如きである。彼等は萬事、日本共産黨の指揮を受け、共産黨一流の辛辣なる排他的流言蜚語と、陋劣なる陰謀的術策の御先棒を承つて、無産者團體の攪亂と乗取りを企て日本の勞働階級をして歸趨に迷はしめつゝある最も憎むべき徒輩である。彼等の口にする墮落幹部とは總同盟の其れにあらずして實に彼等自身のことである攪亂と乗取り、スカップと陰謀のみを以つて之れ事とする評議會の何處が××的であるか。吾々に云はしむれば××××××××××××××××××××××××××××××××××××。

現在の左右兩翼の理論的闘爭は假令、組合運動の發展過程に於ける不可避的現象であるとしても、兩者共、も少し何等か考ふる所はなくてはならぬ。右翼に於いては所謂單なる現實主義×××。

右翼政黨實現化す

曩に共産黨の陰謀によつて政治研究會を除名され、其後政黨組織の母體として獨立勞働協會を形成してゐた安部磯雄氏等が産婆役となり勞働農民黨を脱退した總同盟及び其他の勞働組合農民組合を打つて一丸とする右翼新政黨組織の計畫は着々として實現化されつゝある。

吾々は無産階級解放運動の不可侵的原則として階級的單一無産政黨の實現を望むに斷じて躊躇するものではない。されど日本刻下の現狀及び深刻なる理論的闘爭に鎬を削りつゝある無産階級運動の狀勢は、吾々の翹望する單一政黨の結成を斷じて許さない。而して既に、權謀術策、攪亂乗取りの醜陋なる陰謀のみを以つて終始する無産者運

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

動に感じて、遂ひに反動化した日本農民黨を生み、關西民衆黨を生み、其他の地方的獨立政黨を生むが如き群雄割據の現象を見、階級的勢力を分散せしめしことは誠に悲しむべき事實であるが、混沌としてつくる所なき内部闘爭を繰返しつゝある今日の狀態の下に於いては亦免がるべからざることであると云はねばならぬ。單一政黨のスローガンを今尙高く揭ぐる共産黨一派の觀念的運動は此の群雄割據の大勢の下に見事放棄されたわけである。

生まれんとする右翼政黨の主張は吾々の其れと同じからずと雖、現下の日本に順應する無産政黨として最も内容、形式の整つたものであらうと思はれる。何故かなれば、現に存在してゐる勞働農民黨及び日本農民黨の如きは全勞農大衆の切實なる要求と誠意とによつて成立してゐるものではなく、一部の權勢慾的野心家の策動により、極めて部分的な勞働者農民を抱含してゐるに過ぎないからである。

此の政黨を育てんとする諸君は這般の分裂により遂ひに全く共産黨の支配下に置かれた勞働農民黨を排すと共に、徒らに世の所謂現實主義を振り廻はさず無産階級解放の大目的に向つて之れが組織に急がれんことを望んで止まない。

勞働農民黨遂に分裂す

久しく閥賊や、野心家や、左右兩翼から爭奪の的となつた勞働農民黨は遂ひに分裂した。共産黨に云はしむれば、總同盟の裏切りによつて決裂したと云ふ。脱退したものは曰く、共産黨、評議會の潛行的陰謀によつて、脱退せざるを得なくなつた。と。

吾等をして云はしめば農民組合と、評議會が單一政黨を破壞した事は幾多の調査によつて斷言し得るのだ。

單一政黨は最早永遠に日本の社會運動には起こり得ないであらう。吾々は勞働農民黨に關係する多くの人達が誠意を缺ぎ、離間と中傷を以つて互に爭奪を爲せし事實を知つた。

彼等は眼中無産者運動なく、唯だ目前の小利虚名に捉はれて既成政黨の如く或ひは哀願、或ひは恫喝最も醜劣なる内部闘爭を企だてし事を悲しむ。ブルジョア政治家の行動を非難する社會運動家が斯くの如き醜汚なる行動を執りし事は我が無産者運動に一大汚點を殘した事と云はねばならぬ。

殘留の人達よ。君達は君達の持場を守つて眞個の勞働農民黨として恥ぢざるに至らんことを望む。

金融寡頭政治の形成

資本主義の最後の段階たる帝國主義は、金融資本主義時代であり、金融寡頭政治の形成期である。我が日本資本主義の發達も今や正に金融資本主義時代に到達し、發展しつゝある。最近の一例に之を見やう。其は『三井に買收決定の高砂生命』なる題下に新聞に傳ふる所のものである。曰く——

『三井合名會社の高砂生命保險會社買收は、既に三井と原邦造氏（註－高砂生命社長にして第百銀行頭取）との間に手續は終に了したが、高砂生命としては來る二十五日頃、總會を開いて定款變更其他の件を附議することになつてゐる。而して買收價格に就ては種々取沙汰されてゐるが、約五百萬圓が眞相とされてゐる。尚社名を其儘繼承するか、否か及び重役選任に就ては近日中に決定する段取となつてゐるが、當分日之出生命の住友生命と變更したこと丶同樣に傚て實現して主務省に定款變更を申請するに至るものと觀られてゐるが、主務省に於ても日之出生命に對する先例もあること丶て固より異議なきものと觀られるが、斯く群少會社が有力なる財閥に買收され、しかも堂々と其名を名乘つて出る傾向あることは生保界に取つて注目に値する………』
（十一月五日『時事』）

ブルジョア新聞さへが斯くの如く論評せねばならなくなつた程に、日本の資本主義は、今や正しく金融寡頭政治を樹立し、愈々益々資本主義は攻勢に出でんとしつゝあるのだ。

全日本のプロレタリア諸君、諸君は常に敵陣の偵察と其の備へに奮起せよ!!

國民の話

澤井龍之助

一

近代の資本主義社會組織は或る一定段階に到達すると、自から、帝國主義的色彩を帯び來り而して、漸次、崩壊の域に下降するものなる事はマルクス經濟學の敎ゆる所である。

然して、それは又一方是れに對する無産階級の擡頭を促しつゝ、自からの墓穴を堀るに執念して居るのである。かくして、彼等は自滅の淵に沈湎しつゝあるのだ。

此の科學的原理の前に起てる彼等は、今や死者狂ひの狂態を演じつゝある。彼等は彼等自からの沒落する過程に立ちつゝも尚且、彼等は自階級の永遠性を信じて居る。而して开は又彼等の存在意識を確認し、自階級に反逆する無産階級に對する普遍的イデオロギーの宣傳と共に階級鬪爭の原理を抹殺せん事に勉めて居るのである。

無産階級の擡頭に對する支配階級の壓迫は日に增し、月に募りつゝある。過ぎし議會の治安維持法は勿論の事、小作爭議調停法、勞働爭議調停法、暴威取締法等、々、々。彼等はそれを提出する前には必ず、民衆に或る交換條件を呈する事を忘れない曰く、勞働組合法、曰く小作組合法等々。然し乍ら、それが交換條件として一つとして通過した事があるだらうか。一つとして無いのは云ふまでもない事である。彼等は首を刎ねる前には、御馳走のある事を忘れないのである。が然し、それは何日も首を刎ねてからの事であるから、御馳走にありつけた例はないのである。

二

今や、彼等の無産階級に對する壓迫は是れを二面に分けられると思ふ。

それは、一方には、無暗矢鱈に盲目法案を作製すると共に、他方に於ては、無産階級及其の子弟等に對して、精神的鬪爭手段としてブルジョアイデオロギーを注入する事である。即ち、有産階級對無産階級の對立關係を以つてするに、國家てふ共同善、共同利益、共同幸福の美名の下に、彼等は國家奉仕、國家義務、報國の精神を宣傳するのだ。而して彼等は是れに反逆するものを指して、國賊、非國民賣國奴の名稱を以つてする。然し乍ら、國賊、賣國奴の名は今や社會主義思想の普遍化と共に消滅し去つた感はあるが、「非國民」の名稱は今だに霧消しない。

吾等は專ら、此の『非國民』及び、此の『國民』てふ言語の學理的若しくは科學的解釋の解剖のメスを振ふであらう。

三

國家の定義は種々である。一定地域—國土—に據る權力的統制—若しくは主權—と人種より成ると云ふのが、西歐學者間の定說の樣であるが开はこゝで詳論する機會ではない。マルクス國家論も今や四方八面から檢討され、新學說昨日出ずれば今日亦新らしき學說生ずる有樣で、確固とした國家論なるものは今日では示されてゐない樣であるが、右の定義は其の基礎的構成要素であるから、どちらにしても間違ひはなからうと信ずる。

然して、此の一定地域—國土—に棲住して居る人間が一個の支配關係の統制の下に集つて以つて相互に社會生活を營んで居る事を指して國民生活と謂ひ、且、それを營んでゐる人間を指して『國民』と稱して居るのである。然し乍ら、此の國民なるものは果して眞の國民であり得たらうか？どふか？　一個の支配關係の統制—若しくは支配—（或る人は統制と支配を別々にして居るが、今の場合、此處では同意語に見て置く）の下に共同生活及團體生活をして居る事が果して『國民』なる名稱に相應しいかどうか？　吾等は此の共同生活及『團體生活』の眞の意義を見出さなければならないと思ふ。

四

共同生活及團體生活とは相互

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に相據り、相扶け據つて以つて共同の利益、共同の幸福を追求する事を以てしか呼ぶものと思つて居る。古代の共產村落に於ては個人の取得、個人の財產等と云ふものはなく、總べて一部落民及一村落の共同の取得であり、團體の財產であつた故にそれに據つて生活を營んで居る者は共同生活者であり、眞の意味の團體生活者でなければならぬ然し乍ら、一個の支配關係の下に共同生活及團體生活をして居る事を指して果して眞の共同生活であり、團體生活と云へるや否や。勿論、近所隣同志と生活をして居る事を指して共同生活であり、團體生活であると云へるかも知れない。が然し、此處に同業者が相依つて商賣を營んで居る時、彼等は果して相據り相扶ける信念－若しくは精神－の下に共同生活を營み、團體生活を樂しんで居るか何うか。是れは疑問である。何故とならば彼等はなる事なれば、一方の商人は他方の商敵の破產沒落を欲して居る事は明らかである。即ちそれは、自己の利潤の増大を顧慮して居り、自己の財產の益々膨れ上る事を希んで居るが爲に外ならぬ。換言すれば利害の相反する二つの生活樣式の歷然たる對立に據つて彼等の共同生活及團體生活は自から破壞作用を講じつゝあるのである。即ち彼等の共同生活及團體生活とは名ばかりで、其の實は暗默の中に互に鎬を削る戰ひを營んで居るものであり、又生命の取りやりを實行しつゝあるものである

五

××××、××××××××××××××××××××××××××『××』××××××××××××××××××。支配階級は吾々に對しては共同善、共同利益、共同幸福即ち國家的國民的緊榮の爲に單なる自己を犧牲にしなければならぬと云ふ。此の言葉のあやは吾々に取つては重且大である。少なく共吾々は自己を生さんが爲に國家に報ひ社會に盡すのであらねばならない。然るに『國家の爲に』一般『國民の爲に』吾々自己を犧牲にするのである。『國家』とは何んであるか。『國民』とは何んであるか。吾々は『國家』の原理及定義に關しては最初に述べた如く此處には詳論しない事とする以前に戾つて吾々は『非國民』に立歸らなければならない。支配階級の言ふ『國民』とは即ち吾々を指して居るのである。而して支配階級は吾々が支配階級に反抗の態度を示す時に於ては忽ちにして『非國民』になるのだ。果して彼等は曰ふ『國民が同じ共同生活をして居る國民に對して矢を向けるのは甚だしく非國民である。即ち、國を滅す共だ！』と。吾々は此の例を前述の商賣人に當篏て見る。支配階級とはブルジョアジーの事である。吾々『國民』とは數に於て彼等よりも數倍も上でなければならぬ。ブルジョアーは一方の商人である。吾々は他方の商人になつて見なければならない即ち、ブルジョアーの利害と吾々の利害とは到底一致出來ない狀態にあるのだ。一方が倒れるか？他方が榮えるか？是れは兩商人の如く簡單な問題ではない。兩商人の場合に於ては兩商人同志の利益を圖る爲に或るひは如何なる政策を執るかも知れないであらう。が然し、吾々の場合はそうではない。それは相手が客の場合であるからだ。吾々はブルジョアーよりより多くの取得を受けなければ到底生きる手段がない。且又ブルジョアジーはより多く無產階級を搾取しなければ彼等の弗箱は膨れて行かないであらう。而して又彼等の華麗な慾望は滿され得ないだらう。二つの、全然異つた生活樣式に據つて以つて與へられてゐる共同生活、團體生活を國家と謂ひ同じく共に『國民』と呼ぶ。共處には絕え間ない相尅の鬪爭は續けられて行くに違ひない。資本家階級－及地主－と無產階級－及び小作人－即ち是れである。此の二つはどちらかの一つが崩壞せざる限り永遠の鬪爭を續けて行くであらう。

『××』×××××××××××××××××××××××××××××××××××××。而して彼等はそれに依つて無產階級を欺むき自階級の存續を希つて居るのである。然し乍ら彼等の末路は近づきつゝある。开は最大多數の最大幸福を目指して突き進んで行く×××××××××遠からず齊らされるに違ひない。（完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産階級
法律問答

法的制裁の研究

布施辰治

進め社へ來る法律問答は、無産階級の實際生活に當面しての右すべきか、左すべきかと云ふ質問ではなく、多くは無産階級運動に當面しての彈壓的法律網を拔けられるか、拔けられないかと云ふ質問ばかり多い。斯うした質問に對する私の解答は、素よりそれに相當する用意と考察とを盡す點に別な興味のある事は勿論だが、何となく眞實味の溢れ出ない樣な遺憾がある。實際生活の質問はどの樣に複雜して居ても解答し難くとも、それが直ちに質問者の役に立つのだと思ふと、自ら、眞實味が溢れ出るが、運動戰術に關する質問は如何に明快でも作つた質問の樣に感ぜられる。と同時に私の解答が果してその通りに實行されるかされないかの點に何となく一種の試みを受けてる樣な感じがある。それ故今後の左樣した問題は特別な社會運動戰術講話として書く事とし、一般の法律問答は、なるべく無産階級の實際生活に當面した、惱みの訴へであり度い。左樣すれば私も出來るだけその惱みに答へる眞實の努力を以て日常生活の苦鬪に力添へし度い。依つて今度は今迄集つて居る運動戰術上の質問に簡單でもその總ての解答する。

(問) 現役軍人が示威運動(例へばメーデー等)に參加した場合の法律的制裁の限界

(答) 法律的に考察せらるゝメーデーは勿論其他の示威運動は總べて、治安警察法第四條に『屋外に於て公衆を會同し若しくは多衆運動せんとする時は發起人より十二時間以前に會同すべき場所、年月日、通過すべき路線を管轄警察署に屆出づべし』とある屋外集會に該當する。けれどもこの屋外集會に關する治警第四條の規定は、其の但書にある通り、葬祭及び講社、學生生徒の遠足や運動會等には適用しない事になつて居るのであるが、最近の實例に依ると、龜戶事件の勞働組合葬や、高尾氏の社會葬の途中行列に關する取締に屋外集合の規定を適用しやうとしたり、木崎村に於ける小學兒童の遠足にも之を適用して解散を命じたりして居るので隨分其の適用範圍が廣くなつて居るものと解釋しなければならない。言ひ換へれば、政治結社の屋外集會とか、政治目的に出づる屋外集會のみがこの適用を受くるのではない。從つて、法律的に考察せらるゝメーデー其の他の示威運動を廣く治警第四條の屋外集會なりと解釋すれば當然この規定に觸れないものは誰でも參加することが出來る筈である。何故なら屋外集會に關する治警第四條の規定は、屋外集會を主催するものに付ての取締規定であつて之に參加するものに付ての取締規定ではないからである。故に屋外集會に參加するものゝ取締は、警察犯處罰令に違反する異樣な風體とか、裸體とかでさへなければ何人も參加し得るのである。

私は此の解答を機會にメーデー其の他の示威運動に何人も參加し得るものである事を明かにして、一般無產大衆の左樣した屋外集會運動のある場合には今後進んで之に參加せらるゝ樣にして貰ひ度い事を望んで置く。

そこで、更に本質問の現役軍人はその軍人身分に於て、斯うした屋外集會に參加する事が禁ぜられて居るかどうかを考察するに、治警第五條で現役及び召集中の豫備後備軍人は政治上の結社に加入することを禁じられて居るけれども、屋外集會に參加する事を禁じられては居ない。又私が先に解釋した樣に屋外集會を廣く葬式や、郊外遠足迄に及ぶと云ふ事に解釋する最近の實例に照せば、如何に軍人でも葬式に參列してはいけないの、遠足に出掛けては不可ないのと

云ふ譯には行かない筈だから、現役軍人と謂へどもメーデー其の他の示威運動に參加することは少しも差支えないと解釋すべしである。と同時に之に參加しても處罰を受くる樣な制裁は斷じて無い。

一體軍人軍屬と云ふものには大變喧ましい取締があつて、總ての言動甚だ不自由なるものゝ如く軍人自身も一般人も考へて居るが、軍人軍屬の言動を、特に嚴重に取締るのは、所謂軍人軍屬としての、軍事關係に基く統制範圍內の事であつて、軍事關係以外の人間的言動に就ては假令軍人軍屬であつても、特に嚴重不自由な取締を受けねばならない理由は斷じてない。故に軍人軍屬の言動が軍事關係に基く統制上の嚴重不自由な取締を受けて居るのは、軍隊內に於ける言動が主であつて、軍隊外に於ては常に人間的言動の總てが許されて居るのである。但し軍隊內に於ける軍人軍屬の言動でも軍事關係に基く統制上之を嚴重不自由に取締る必要ありとせられて居るのは同じ軍人仲間の敬禮問題の如きが其一例であらう。即ち同じ軍人仲間では軍隊外でも敬禮問題の取締があるのであるが、一般人との間には少しも敬禮問題の嚴重不自由な取締のない事でも解るだらう。從つて現役の軍人軍屬が軍隊外に放たれた自由外出の際に於て、メーデー其の他の示威運動に參加しやうと一向差支へのある譯はない、寧ろ、軍人がさうした多衆運動の指揮統制に相當の訓練を得て居るとしたら、メーデー其の他の示威運動に參加して能く平常の訓練を發揮して貰ひ度い。故に私は望む、今後の軍人諸君は遠慮することなく、メーデー其の他の示威運動にドン〳〵參加して、軍隊內に於ける軍事關係の非人間的にして嚴重不自由な取締を撤廢する樣に努めて貰ひ度い。

(問) 各選擧の際に於ける棄權行爲の奬勵に法的制裁ありや

(答)この問題は私が大正六年以來の衆議院總選擧每に開いた無選擧權者運動に關聯して研究した事であり、又私が本年度の東京市會議員總選擧對策としての非選擧論を唱へた時にも研究した事であるが、現在の一般法規としては其の趣旨目的を本質的に處罰する制裁はない。けれども、棄權行爲の奬勵が暴行脅迫と云ふ樣な手段に依りて行はれた場合には、各種の選擧に共通した選擧罰則の所謂選擧妨害として衆議院議員選擧法第百十五條二號『交通若しくは集會の便を妨げ又は演害し其の他、僞計詐術等不正の方法を以て選擧の自由を妨害したる時』と云ふ條文で、三年以下の懲役若しくは禁錮又は二千圓以下の罰金に處すると云ふ制裁がある。尙ほ一般の直接選擧に非らざる間接選擧としての複選制度に依る市町村長の選擧とか府縣會や市會やの議長、特別委員選擧の棄權奬勵が暴行脅迫に出でた場合には選擧罰則に依る制裁ばかりではなく刑法の公務執行妨害罪として制裁せらるゝ事に爲るし各府縣の警察犯處罰令にはどんな事でも罰し樣とすれば、罰し得る樣な廣い文字の解釋でそれに當嵌められる場合もある。けれどもそれを恐れて居たのでは現在の如き法律の解釋專制、裁判專制に彈壓せらるゝ社會運動の何事も出來ない。故に私は言ふ、一般普通の法規で處罰しない有効正當な運動はドシ〳〵行つてよい。從つて腐敗墮落度すべからざる如き各種議會の現狀を眞實に指摘すると同時に、棄權奬勵の消極的正當を信念する場合の非選擧同盟、即ち棄權奬勵運動は決して法の處罰を受くるものでないから、ドシ〳〵行つて良い事を解答する。

貧しき憤怒

下山利基智

兄は熱心にふしくれ立つたる
指先に
ソシアリズムの頁を繰る
弟は——今尋常六年生だ
なよやかな手に讀本を持ち
それを暗誦せんとす

突然である
兄は大喝せぬ
勞働に鍛錬された鐵拳は灯を
振はし家を震動して
今や瞬間の××××××
××××を引き千切らんとす

アッ!
母は驚かぬ
弟は戰きぬ

貧に怒れる彼等の
怨恨の泪はハラハラと机に落
ちたり

無産階級法律問答

諸税金不納同盟の法律的考察

布施辰治

問　市町村税の意識的滯納に對する法律的制裁の有無。有りとすれば其の限界如何。

一

市町村税及び縣税の意識的滯納に對する法律的制裁の有無！有りとすれば其の限界如何――といふ質問が來て居るが、察する處質問者の眞意は單に市町村税や、縣税のみとは限らず、國税其の他一切の諸税金を意識的に滯納する不納同盟でもやつてみやうとする場合の用意に、私の法律的考察を求めんとするにあるのであらう。

故に、私は質問者の質問事項を廣く、諸税金の意識的滯納、即ち不納同盟に對する法律的考察として、萬一にも左樣した諸税金不納同盟でも行はるゝ場合には、それが、どうして行はるゝか？　亦、その結果は、どうなるか？　といふ事を左に解答してみやう。

二

解答の順序として、先づ第一に、諸税金の不納同盟といふ事が行はるゝ場合があるとしたら無産階級解放運動の戰術から觀た、其の價値如何を一言したい。

由來、無産階級の解放運動は正しからずと云へども、強い有産階級の既成勢力を代表する權力、金力に依りて、正しくとも弱いがまゝに壓迫せられて行く無産階級の反逆である、と同時に、反逆的な無産階級の解放戰術は飽迄積極的であり度い。其の戰術は常に必らず積極的であつて、如何なる敵にも戰つて勝ち度いのが本來の希求であり、戰つて勝つ事が出來なかつたら花々しく敗れて仆れたいのが突進的な解放運動の精神である。けれども、左樣した花々しい積極的戰術にのみ眩惑してゐては、眞の理想社會を建設する無産階級解放運動を成就する事が出來ない。何故なら常に必ず積極的解放運動の戰術は、破壞的であつて建設的であり得ない。建設の爲めには破壞の必要な事は勿論だが、其の破壞と同時に建設するまでに運動の進展して居ない時代の破壞は、破壞とゝもに倒るゝ犧牲のテロリストのみがなし得る運動であつて、建設の使命を任ずる無産大衆の用ふべき表面の解放運動戰術ではない。

爰點に關する私見の一端を語れば、無産階級解放運動の至難は實に爰點に存するのである。

と云ふのは、有産階級の既成勢力を代表する權力、金力で束縛せられて居る無産階級が、其の束縛から解放せらるゝ爲めに運動するものが、其の權力、金力の變形たる法律に手も足も束縛せられた儘なのだからである。

正しくして弱き無産階級の不合理に束縛せられて居る權力、金力の鎖を斷ち切つて呉れるものは、現にその不合理な權力、金力の束縛に喘ぐ無産階級以外のものであつては、眞の無産階級解放運動ではないのである。自分の事は自分でする眞の無産階級解放運動は、有産階級の既成勢力を代表する權力、金力に依りて現實に束縛せられて居る無産階級が、その束縛の儘に、その束縛から解放せらるゝところに、其の意氣があるのであつて、其處に消極的な解放運動の戰術がなり立つのである。何故なら、束縛の儘に束縛を解く解放運動の戰術を、常に必らず積極的にのみ進めて行くと、かへつて、その束縛が嚴重になる計りで、遂には手も足も出ない嚴罰、酷刑の自縄自縛を結果する事になるからである。

之を卑近な設例で云へば、束縛の縄を抜ける名人は昔から決

して積極的に其の繩を斷ち切らず、寧ろ、その反對に束縛の强さを迎へた消極的な細身の戰術を以つて繩拔けした、といふ事であるが、それと同じ理論に出づる消極的な解政運動の戰術に選擧の棄權同盟もあれば、ストライキもあるのである。

更らに、小作料や、家賃の不納同盟もあるのであり、今茲に解答する本質問の諸稅金不納同盟の戰術も亦あり得るのである。從つて、斯うした解放運動の消極的戰術を大體に類別すると、その一は、

不完全乍らに與へられた權利の放棄に依つて、政府官憲の御注文に應じない。ブルジョア階級の豫定を逆算せしむる事であり、

そのことは、

義務の不履行に依つて、ブルジョア階級の當てにして居た豫算を狂はしむる事である。

そのことは、

與へられた。權利の行使に相關した義務の履行を保留して、先づ與へられた權利の行使と義務の履行を引換にすることである。

而して、本質問の諸稅金不納同盟は、正にその二に屬する義務の不履行である。が、之を敢てする場合如何を考ふるに、その一は、感情的に諸稅金徵收を快しとせざる處の不納である。

モー少し判り易く云へば、泥試合の議會で制定した法律に依りて諸稅金の納付を下命する。官憲當局が腐敗墮落の限りを盡して居るとしたら、何人が進んで國家に對する納稅義務を果さうとする氣になれやう。

茲に於てか、取り立てに來るまでは、どんな諸稅金も進んで納めない。一度や二度取り立てに來ても納めずに濟む限りは納めずに置いて、結局財產を差押へても徵收するといふなら致し方がないからそれにまかせる。といふ程度の諸稅金不納が、所謂不快不滿な諸稅金に對する意識的の不納である。

斯うした、諸稅金に對する不快不滿の感情が意識的に共同體となり、何人も進んで納稅するものがなくなる時があつたら、其處に一種の不納同盟が行はるる事になるのである。

まさかに、左樣した感情的不納同盟が組織的にならうとは思はないが、近來の如ふな、議會泥合戰の腐敗と官規紊亂の大疑獄事件や、怪文書事件が頻發續出して來ると、自然腐敗した議會で制定せる法律に依りて、墮落した官吏の下命する諸稅金を眞面目に進んで納付しやうとするものがなくなり、知らず〳〵の間に、所謂感情的な諸稅金の不納同盟が成り立たないとも限らない。其のことは、惡稅に對する廢止運動の戰術として行はるゝ不納同盟であるが、例へば營業稅は、勉强して商賣が繁昌する程利益所得の有無如何に係らず、稅金を徵收する惡稅だといふ所から、之が廢止運動の戰術として、其の營業賣上調查に便宜を與へなかつたり、或は、下命せられた賣上額の決定や、之に基く稅金に異議を申立てたり、故障を謂つたりしてなるべく下命の稅金を收めまいとする不納であつて、其の意識的不納同盟たるや勿論である。

そのことは、諸稅金の下命當局に對する不信任の爲めに行はるゝ不納同盟であるが、最も多き事例は、市町村に於ける、新規事業や、臨時事業の學校建築とか、役場の改築といふ如ふな事に反對するものが、その反對議決に敗れてその事業豫算に基く諸稅金を附課せられた場合、その事業自體に反對する事が出來ないので、其の事業を實施强行せんとする、事業當局不信任の方法として、當該事業豫算に基く諸稅金を不納する場合である。斯ふした場合の不納は素より意識的である。と同時に、諸稅金の附課手續は、勿論其の附課の原因たる事業の當否に關する一切の事項を問題として、之を納めまいとするのが、此の種の不納同盟の行はるゝ形式である。

三

以上の如ふな關係で、諸稅金の不納同盟が行はるゝ場合があり得るとして、その結果はどうなるかといふに、之を一人一人の不納者に就いて云へば、如何なる方法で異議を申立て、夫れが結局理由があるまでも、一先づは下命の諸稅金を納付させられるといふ事になるのが最高最大の制裁であつて、それ以上不納同盟をしたのが惡いといふて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

反して多數の勞働者が告發せられたことである。尙ほ當時に於ては、雇主と雖も同様に結社を作ることに就ては處罰せらるべき法律上の責任を有してゐたが斯の如き犯罪のために處罰された事實は何一つ記錄されてゐない。そして雇主は此の時代を通じて、公然と組合を組織してゐた。

勞働組合運動は、此の期間を通じて餘り大した世人の注意を惹かなかつた。と云ふのは、政治上の改革運動の方が全盛であつたからだ。勞働階級は勿論、製造業者からも支持を受けた所の此の運動は、勞働者が顯著な役割を演じた所の最初の大きな社會運動であつた。ウイリアムコベットの諸著作、特に彼の定期刊行物が勞働階級の輿論の最初の眞の目ざめを喚起せしめた偉大なる要素であつた。然るにも拘はらず、後ちに殆んど全勞働階級の援助の下に運動が繼續されて、遂に一八三二年には選擧改正法が實施さるゝに至つた然し勞働階級は依然として選擧資格の埒外に置かれてゐた。(コール)

三、オーウエン主義の運動時代

選擧改正法の通過に引續いて起つたのは、一大產業危機であつた。そして英國勞働組合の最初の大衆運動であつた。選擧權なき勞働者は、政治運動から產業運動に轉じ、かくて勞働組合運動は急激なる發達を來した。既に一八二九年には、紡績工は全國的組合を組織し、一八三〇年には最初の實行計畫として、全勞働組合運動を單一組織に結合するために、全國勞働保護協會なるものを組織した。然し此等の團體は間もなく分裂したが此等の組合を構成しつゝあつた各種の地方組合は、大部分存續してゐた。一八三二年には、建築工組合が組織され、その綱領中には、今日の建築ギルドの共と大差なき抱負を有してゐた。一八三四年には、此の組合に次いで全國大合同勞働組合が設立された。然し此は數週間の間に一部分は多數の地方組合の加入により大部分は農業勞働者、婦人及び未だ曾つて組合を組織したことのなかつた勞働者を包含する所の新補充兵からして七十五萬の會員を登錄したと斷言した。大總同盟罷業が此の組合によつて計畫され、勞働者によつて生產を支配せんとする意見を以て試みられたが、遂に行はれずに終つた。と云ふのは、此の組合は間もなく、尙早的な部分的な爭議の中に全國を捲き込んだことを知つたからであり、屢々雇主側から自己の使用する勞働者に對して『勞働組合』を脫退することを强制して之に對抗したからである。尙又、野蠻な攻擊が此等の組合の上に法律を通して行はれた。その最も有名な事件は、ドルチェスター勞働者の其れであつて、彼等は一八三四年に不法宣誓の罪によつて七年間の流刑を宣告された。かくて幾許もなく、財政上の疲弊と組合內部の軋轢とに依つて大合同は瓦解し初め、一八三四年の末に至つては、此の組合は事實上消滅してゐた。かくして最初の產業勞働階級の大運動は醜い崩解に終つた。一擊の下に資本主義を打ち倒し、之に代つて新社會を創設すべく組織された所の勞働組合運動は、脆くも崩壞したが、此の大合同に加入してゐた所の地方組合は、大部分殘存し、近世の全國的勞働組合の核心となるに至つた。

大合同組合は主としてロバート・オーウェン及び其の一派の思想の影響を受けてゐた。理想家にして實業家、且つ最初の偉大なる工場改革者であり、且又恐らく自分を『社會主義者』と呼んだ所の最初の人であり、多くの點に於て協同組合運動の父たる彼れオーウェンは、早くから勞働組合に參加し、社會理論家として廣く影響を及ぼした。オーウェンは獨占的支配の代りに產業民主主義を置くことを主張した。彼の影響の下に協同組合の最初の發達が爲された。と云へ彼の理想は、協同組合セッツルメントの設立をも含んでゐたものであつて、近世的協同組合の實際からは餘程かけ離れたものであつた。

大合同組合の崩壞は大して寂寞を感ぜしめなかつた。と云ふのは、勞働者の注意が既に他の運動に惹きつけられてゐたからである。卽ち其はチャーチスト運動が初まつてゐたからであつた。(コールによる)。(續く)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會進化の必然性

小森善逸

勞資の階級闘爭が不斷に續き殆んど收拾し難き混沌たる現代の社會狀態を見る時、吾々は何故人間が斯くも淺間しい闘爭を續けなければならないのか、又この果しもなき闘爭がいつ終りを告げるのかは、全く想像することも豫想することも出來ない樣に思はれるが、併し乍ら過古の歷史は『原始共產主義社會が崩壞し私有財產制度が確立されて來て以來人類の全歷史は搾取者と被搾取者、壓迫者と被壓迫者との階級闘爭の歷史である』—とのマルクスの歷史觀からこの闘爭を見るならばそれは歷史的必然のものであつて、正しく順調に歷史の頁を綴つてゐるものである。而して現代社會制度はこの階級闘爭に依つて、あたかも封建制度が崩壞し資本主義制度が發生して來たが如き進化法則に從つて（即ちその時代の經濟關係の變遷に依つて）必然的に崩滅して行かなければならぬ免がれ難き運命にあるのである

この理論即ち歷史的必然論は社會進化法則の眞理であり、歷史哲學である。されば今日のブルヂョア學者と雖も良心ある者はこれを認めて居る。唯この必然論を唯心史觀的に見るのがブルヂョア史觀であり、唯物史觀的に見るのがプロレタリア史觀である。又社會進化は物質のみに依るものでもなければ精神のみに依るものでもなく、物と心の交合作用に依つて行はれるものであると必然論を下すのが所謂中間派史觀、第三史觀であるこの三つの史觀は何れも主觀こそ異なれ、見解こそ違へ、等しく社會進化は階級闘爭の免がれなかつたものであると云ふ所に於て一致してゐるのである。

而して再び現代の社會制度をこの歷史觀から見るならばそれは幾千年と云ふ長い間の人類の歷史のほんの僅かの一頁を綴るに過ぎないものであつて、早晚にして崩壞し、新らしき社會制度に變らなければならぬ。併し乍ら、現代の支配階級はこの歷史觀を取らうとしない。そしてひたすら彼等の社會制度の存續を計り、彼等階級の繁榮とその子孫の幸福を希はんとする。

それが爲に彼等ブルヂョア階級は彼等階級の存在を脅威し、又彼等階級に叛逆し、階級闘爭を挑戰する無產階級に對して權力、暴力、懷柔等の凡ゆる種類の手段政策を弄して階級的敵愾心を痲痺し、階級意識の消滅に努める。併し乍らこの無產階級は、現代の資本主義それ自らが生んだ特種の產物であるが故に如何にブルヂョア階級が資本の城壁を高くし强固に築き上げやうとも、又如何なる政策を弄しやうともそれは哀れにも悲しき末期のもがきに過ぎない。資本主義はその發達するに從つてそれ自體その社會に相容れざる分子即ち無產階級を資本主義の城壁の內部から發生してくるのである。故に資本主義は自ら自壞作用をしてゐるものである。

ブルヂョア御用學者は資本と勞働とはあたかも車の兩輪の如きものであり、その何れの一方が缺げても、又兩者が勝手に思ひ〳〵の方向に行かんとし爭ひを續けたならば社會は圓滿なる發達を爲し得ざるのみか資本家も勞働者も共倒れとならなければならぬ。而して人類社會はこの勞資の階級闘爭の繼續することに依つて次第に滅亡して行かなければならぬ。が故に勞働者と資本家とは協調して行かなければならぬ。この協調に依つて人間は幸福を增進し文化を建設して行くものであると說く。

併し乍らこの理論も社會の進化は階級闘爭に依つて爲されて來たと云ふ歷史觀から見るならば、それはブルヂョアの爲にする單なる詭辯に過ぎない。ブルヂョアがそうした詭辯を弄さなければならないと云ふことは、一面に於て最早や資本主義が來期の水が通らなくなつたことを意味するものでありプロレタリア文化の黎明の光りに接して來たことを表象するものである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產政黨の批判と希望

端書回答

質問文

一、勞働農民黨に對する批判及び希望

二、日本農民黨(平野力三、高畠素之、有馬頼寧、高橋龜吉の諸氏に依つて組織されたる)に對する批判及希望

三、關西民衆黨(純向上會八木信一氏等に依つて組織されたるもの)に對する批判及び希望

右に對し嚴正なる批判を加へられん事をお願ひいたします

□ 靑柿善一郎氏

貴誌の發展を祈ります。

一、勞農黨から右翼五團體が脫退したことは遺憾なことですが、結局落ちつく所へ落付いたのです。單一無產政黨はこれをスローガンとして宣傳し、右翼の手から大衆を左翼に獲得する手段として標榜するだけで、實現し得るものでないことを思つてゐた私は、結局そう云ふより他に批評のしやうがない。只、ブル新聞が右翼の脫退を以つて恰かも勞農黨が瓦解したかの如く云つてゐるが打擊は大したものではない。それは多少とも全國的地盤を有つてゐるのは總同盟だけで、他は或ひは一地方に限られ、若くは一產業に限られた團體だし政治鬪爭の重要性をも餘り認識してゐないのだから、それと同時に門戸解放によつて全國的に地盤を有つ評議會外三團體の加盟し得るに至つた事實は、右翼脫退の打擊を補つて餘りがある。それのみでなく、全國水平社の新たに加盟したことは一層勞農黨を有力にしたものです。今後實際行動の上に着々その活動が現はれるでせう。

二、三、に就いては私は大して問題にしてゐませんが次のやうなことが云へます。現在以上に大きく發展しないであらう。萬一大きくなるなら自ら分化が行はれ、大部分は無產政黨へ、一部はブル政黨へ走るに至るだらう。

□ 馬場恒吾氏

一、今日になつて、勞働農民黨は何故共產系純左翼と正直に大膽に旗幟を鮮明にしないのであらうか。疑はれるのみだ。

二、日本農民黨は既成政黨の何れかと手を握るのか、或は既成政黨の何れにも反對するのかそれを聲明して貰ひたい。

三、關西民衆黨の事はよく知らない。

□ 三輪壽壯氏

一、日本に於ける無產政黨の正統派とでも云ふものは勞働農民黨かおいてない。これだけは無產階級の力によつて盛り立てゝ行きたいものである。總同盟始め勞働組合の脫退等で內部には却つてやり易くなつたと思ふがそれだけ左翼的色彩が濃厚になり、對外的にはやゝ弱い點も多くなつたであらう。黨內で左翼分子の言動を制して行くことが出來れば大過はあるまい。でなければ潰されるか、小さくなるかする。

二、野心家と既成政黨の策士とでッちあげた芝居が日本農民黨の結黨式である總選擧に望めば今からかれこれ云はずとも化の皮のはがれること必定。何の希望も期待もない。早く假面をぬいで、政友會に吸收される事だ。

三、地方政黨としては海軍聯盟關係の各地の地方政黨がある。關西民衆黨はそれ程のまとまつた勢力にもなり得まい。日本は小黨分立で斯くの如き政黨が續々出來るであらう。

□ 宮內武郎氏

一、勞働農民黨は過般の分裂により、完全に共產黨の掌中の玉となつた。が今の儘で押し通さうとすれば、支配階級からの峻烈な壓迫と、無產階級からの敬遠とによつて、到底其の發展は期し得られない。

二、日本農民黨は無產階級の假面を冠ぶる反動的政黨と見て誤りはあるまい。吾々は此の樣な政黨に何物も希望することが出來ない。

三、これも亦御用政黨である。問題にすべき程のものではなからうと思ふ。

□ 久留弘三氏

何れもまだ出來たてのホヤホヤですそれを唯、そのかゝげる政綱や、その中心人物の如何によつて、直ちに共產黨だとか、ブルジョア黨だとか、端的に決めつけて仕舞ふ事は無產政黨の將來のためにお互に愼しみたいと思ひます、私共は是等の政黨に對してもう少し靜かな態度で其行動を眺めたい。要するに未だ貴社の「嚴正なる批判」をするまでに至つて居りません。

□ 石川準十郎氏

一、今後の日本勞働農民黨は日本勞働農民ロシア黨として行くの外無かるべく、而して、それも今後の日本無產階級運動の展開上一個の必要な存在であるが故に、關係關係者諸君（諸然偶然の）××××××××××××××××××××××××××(?)×××。

二、今後の日本農民黨は依據方針及び勞力の如何によつては充分日本農民の決定的代表勢力たり得ると思ふが、現在に於ては依據方針も人材も備はざる所が多いと思ふが前途を與へられて居る事は爭はれない、私は同黨が單なる社會政策的及社會民主主義的右傾でなく、批判マルキシズム的根據の上に進む事を希望するものである。

□ 中澤辨次郎氏

一、勞農黨は終に分裂して終ひました。甚だ遺憾の事とは思ひますが、相容れない思想の衝突であると聞いて見ると、それも止むを得ない事でせう。後に殘つた者は出來る丈け自重して、餘り左傾しないやう希望致します。

二、日本農民黨は正系の無產階級政黨ではありません。過渡期に派生された恐らくは多くの社會的使命のない政黨たるでせう。既成政黨に類を異し（然し政友系と本黨系）とに二股かけて瞞れ賣らうとして居ると云ふことでありますが、そうした猿芝居じみた事が、何時まで長續きするでせうか、大なる疑問だと思ひます。早く自己の缺點に目覺めて云ふが如き勤勞階級政黨としての本流に甦りた興して來る日のあらんことを希望します。

三、關西民衆黨に對しては多く知る所がありませんから遠慮して置きます。

□ 吉田源藏氏

一、綱領に如何に『國情に照して……』とあつても議會解散請願運動なんか御免蒙り度いです。無產階級が單一政黨を必要とするのは其數の力が絶對性であるからで、此の絶對性の力、即ち數の綜合に專ら勉めて貰ひたいものです。

二、單一無產政黨が其の純理倒れになりかけて居る時に、先づ『握手し得るもの』が握手し自身の腕を鍛へよう』と起つた事は實に賢明であります。黨の標明『農民は農民黨へ』之れをスローガンとして全無產農民を綜合する事に盡瘁して貰ひたい。

三、地方民衆黨の出現と、之れが發展は無產階級陣營内の勞農二大要素の力の結合に必然缺ぐべからざるものであります。そして地方民衆黨は、農民黨の全國無產農民の握手と相俟つて勞働組合の全國的統一聯合を促進せしめ、斯くして無產階級の單一政黨へと進む事は容易でせう。此意味から關西民衆黨の發展を祈ります。

□ 細野三千雄氏

一、勞働農民黨は一日も早く、その黨企門閥の支配を離れて一般勞働大衆の支配下に置きたい。

二、日本農民黨は兎角の世評にも拘らずやるだけの事はグン〳〵やつてゐる。私共がその發達を希望せざるとするとに拘らずその幹部連中は仲々やりよる。唯既成政黨者流に比較すると（その幹部諸君は既成政黨流に進まうとしてゐるらしいがいまだ〳〵お話にならないらしい。後藤新平を黨首に推戴しやうとしても、體よくことわられたなぞは後藤の方が役者は一枚も二枚も上だ。新興政黨として餘り眞似をしやうといふのが間違ひだらう。

三、關西民衆黨については餘り知識がない。

□ 淺野研眞氏

除りにも目まぐるしき刻々の創造的進化に對して、此際まとまつた批判は之れを回避します。希望としては矢張り共同戰線に立たんことであります。辯證唯物論は時代錯誤でせう。

□ 大谷久治氏

一、勞農黨は今、右黨、左黨の兩派に苦しめられてゐます。此時に頭み勞農黨はよく未組織の同胞を集め、右に述はず、左に走らず、たゞ大衆の眞の道を眞直ぐに進んでほしい。

二、此の黨はインテリゲンチャである指導者連の我利と盲想と民衆への反逆の結果デッチ上げたものであると思ふ。それ故黨の中心首者に改心して正道を進まん事を望みます。

三、八木氏の理想の政黨でせうが、民衆の物でなくして急進ブルとノロマプロの物です。一時も早く自滅してほしい。

□ 遠藤晋一氏

無產階級の政治運動、それは議會主義が目的でなく、無產者解放の一手段に過ぎないものです。×××、××××××××××××××××××××、××××××××××××××××××××××××？××××××××××××××××××××××××××。私は無產政黨同盟に就いて考へる必要を認めません

□ 帆足理一郎氏

一、勞働農民黨が右翼を失つた事は甚だ遺憾に思ひます。けれどそれは當然の成行で右翼の人々は新に政黨を造るそうですが、かくて各々の傾向を明瞭にして進むべきでせう。日本の社會は革命の血汐を渡る事は出來ない。極端に唯物史觀的な見解や注ぎ方は私共の贊同しかねる處結局右黨に學ぶべきを多く見出すでありませう。

二、日本農民黨も關西民衆黨も健全な行き方で、社會政策的に徐々たる改造の行程を進まうとする處に、互に共鳴する點も多かるべく、是等の小黨は新に來るべき勞農右黨などゝ、提携して先づ議會の改造に直進し、既成政黨の足場を奪ひ去る事が必要でせう。

□ 藤松義雄氏

田舍にあつて、所謂天下の大勢とやらをハッキリ意識しない私は、自然判斷が躊躇となる譯ですが、勞働農民黨にしろ日本農民黨にしろ、總同盟にしろ、非議會にしろ餘りに●●●●●●●●高踏していないでせうか。●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●ば合によつては、ゴゴの樣にも見えますれ。自分の手と自分の手と相擊つことは止めたら如何でせう。

勿論私共の屬してゐる海軍聯盟にしても、何日かは少し色アゲすべき時期が到來するとは思ひますが、今でも決して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吾等が同志を傷つけたり、罵倒したり陥穽を作つたりしてゐませんもの。

然しこれが吾國無産政黨の受難時代であり、煩悶時代とも云へますね。

萬事は時が解決するでせう。

□ 布施辰治氏

一、勞働農民黨は何んと云ふても、我國無産政黨の嫡出で、勞農階級單一の政治的結成を期して居る點に於て私は名實相適な勞働農民黨の單一政黨たる充實と發展とを望んで居ります。が然し、それには現在の勞働農民黨の陣容も活動方針も甚だ危なつかしい不確さを遺憾とします。

二、日本農民黨と云ふものゝ正體はよく判りませんが、所謂産業代表を標榜する様な政黨は所謂無産階級運動の政治的戰術を張る無産政黨だとは思ひません。

三、關西民衆黨に就いては一寸も聞いて居りませんから、批評し得ません、が察する處、日本農民黨同様程度のものではないでせうか、從つて私の批評も同様です。

□ 友實孫四郎氏

一、は單一無産政黨をモツトーとして全無産階級を打つて一丸とせんとして、難關に出合ふ事を熟知して一歩も讓歩せないは單一政黨の實現せんとして不可と思ひます。故に本勞農黨が成長さすことは實現的現實運動へと云ひたいです。

二、は現實運動をモツトーとして農民は農民黨への實情は無産階級解放運動としての政黨にあらずと思ひます。願はくば獨斷的背策を捨てゝ資本攻勢に抗爭す可き戰線に一歩を入れん事を。

三、本黨は本黨としての色彩はあまりにもハツキりせずして、自黨の根底に於いてグラ／＼してゐることは靜意に思考して如何なる政黨と協調的行動(共同)するかに於いて批判せなくてはならないと思ひます。願はくば勞働農民黨へ結成されん事を……なれ共出來ないと考へない樣に………

(註)いづれにしても私としては三者の立場になれない爲め、眞正の意味淺きを遺憾とす。

□ 新居格氏

政治運動なるものに希望を持たぬ今、勞農黨、日本農民黨、關西民衆黨の何れに對しても何も云ふ事がありません、唯私は靜かに傍觀しつゝ成行を考へてゐます。

□ 米窪滿亮氏

現時の日本に於ける勞働界の趨勢及び勞働大衆の政治運動に對する意識の反映の微弱なる現狀より見て、地方產業別による無産政黨の出現は止むを得ないものと存じます。この現實の傾向を無視して單一無産政黨を作らうと云ふのは、勞働者の政治的解放の理想論に走り過ぎた机上運動か又は觀念の遊戯にすぎないと信じます。

□ 鈴木椰夫氏

一、勞働農民黨は總同盟の脱退に依つて事實上崩壊したものと思ふ。

二、日本農民黨は排撃すべきものと思ふ「我々は日本人なり」と云ふやうな事を云ふ所に全く愛想がつきる。一日も早くぶつ潰したい。

三、關西民衆黨はよく知らぬから批判が出來ぬ。

□ 林癸未夫氏

一、極左翼の存在は右翼の健全を保障する一つの殺菌劑として必要だ。この意味に於て勞農黨が反動苦肉の策を弄しないで、正々堂々共産主義の看板を掲げて進む事を望む。

二、日本農民黨は勞働總同盟其他と合同して右翼を形成し、無産階級運動の中堅たる事、英國の勞働黨の如くなるべし。

三、關西民衆黨は極右翼に止まり、右黨を牽制して、極左黨への接近を妨害すべし。

□ 島田良藏氏

三黨に對する批評は一々したくありませんが要するに政治運動のみで無産階級の完全なる解放を期待し難いことは英國の勞働黨内閣や炭坑爭議の事實に徴して明らかである。全國的單一無産政黨が出來ればそれに越したことはないが、現在諸種の事情がそれを不可能とするならば地方的其他の方法でも可能なる限度で進めばよいと考へます。

□ 小林輝次氏

一、現在において、勞働農民黨のみが唯一の階級的共同戰線黨である。凡ゆる方面よりの、無産階級勢力の結成を牽殺せんとする魔の手を防け、更生勞農黨の健闘を祈る。

二、資本主義沒落期たる現在に於ける日本農民黨は、反動團體以外の何物でもない。誤つてこれに參加したもの、及び農民大衆は、速かに去つて勞農黨に參加するか、もしくは買收されてゐる墮落分子を進出して單一無産政黨の旗下に集る可きである。

三、關西民衆黨については、餘り多くを知らないが、ブルジョアジーの廣告を一匹間受け持つたサンドウイッチマンに過ぎないだらう。ノタレ死ぬ迄救られやう

□ 高橋代喜子氏

私は現在の日本の狀勢を見る時、其處に如何なる事情があらうとも、勞働農民黨、日本農民黨、關西民衆黨等と小黨分立の態度を取る事は大衆の與望を裏切ると同時に、其客觀的狀勢を認識し得ぬ非無産階級的な政治行動と思ひます。今や日本の資本主義もその歴史的使命を果して最後の段階たる沒落の過程を過程しつゝある時、全無産階級はその日常鬪爭に鐵鎖の如き共同戰線に依り、末期の資本の攻勢と彈壓に鬪爭すべきだと思ひます故に解黨若くは合同して單一無産政黨の實現を希望致します。

□ 梅津四郎氏

一、勞働農民黨に對する批判及希望山程あり。併しながら一葉の文書には云ひ盡し難し。唯根强き無産階級の單一政黨として進み行く事を希望するのみ。

二、農民階級のみの政黨は工場勞働者の共同戰線を無意識的に離反さす事になる故に日本農民黨は即時に解黨し、而して勞農黨へ入黨すべし。之れ我等の日本農民黨に對する最大の希望なり。

三、關西民衆黨即時解黨すべし。然して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞農黨に入黨し、單一無產政黨勞働農民黨を支持すべし。之れ關西民衆黨に對する希望なり。

□ 北澤新次郎氏

一、今となつては勞働農民黨が我國に於ける左翼政黨として充分の活動を希望する。其れは充分の存在價値を有すると思ふ。

二、日本農民黨は若し、これが勞働農民黨に對する偏見を持たず、且つ階級意識に基く眞實の政黨であれば右翼の陣營として適當の職分が有ると思ふ。希望は決して既成政黨と交渉を持たない事を衷心から願ふ。

三、關西民衆黨も又然り。

□ 室伏高信氏

一、共產黨となる外なきが如何？

二、餘りに右翼的であり、旗印が餘りに不鮮明である。農民を一つの社會階級として認識せざる事を遺憾に思ふ。

三、これに就いては知る處少なし。

□ 栁原登一氏

一、勞働農民黨の成立精神に無產勞働者農民小作人、小商人、サラリーマン等の利害を代表した政黨だと信じます。而も無產階級解放を高唱するものに於ては當然勞働農民黨を支持するのが義務であると私は信ずるものである。で勞働農民黨は速に門戸を解放して、目的の精神を貫徹するに努力されん事を希望するものである。

二、日本農民黨に對しては、嘗將來の行動に微して意見を述べませう。然し強いて云へば、日本農民黨は勞働農民黨に對して敵意があるだけ、勞農黨程に誠意がなさすぎるものでなからうかと思ふ。

三、關西民衆黨の成立は關西民衆の爲め結構な事と思つてゐるのみで從少に失するものでなからうか？ 私は此點に鑑み多く言外する事を避けたい。

□ 倉本晃南氏

小生等には批判及び希望を述べる程の知識は所有して居らぬ、が一、二、三黨共、共黨を成立したのは結構である。又生まれるのが當然であらう。勿論小生は批評をするのではないが、折角出來た共黨が生まれるや否やゴタゴタしたり、ブル政治屋に操られたり、共產黨一派の輩等に兎や角される事がある樣では、小生等如き無產階級勞働者は何んにも云はず、唯傍觀するのみである。小生等の望む處は眞の無產階級勞働者を以つて區別なく全國的に一丸となし、一大民衆黨を組織してブル階級や、ブル政治家等實名主義運動者、又は現在の共產黨等に對抗し大々的に闘ふことを望む。最も禁物とする處は總べて黨を組織すると直ちに其の幹部の椅子を狙ふ野心家のある事が甚だ感心せぬと思ふ。

□ 濱田國太郎氏

どれもこれも無產政黨と云ひ勞働者の政治運動と云つて居りますが要するに一部少數の勞働運動家の政治的慾求の發現であつて、多數勞働大衆の政治意識を那邊迄反映して居るかは大分疑問です。之れを要するに何れを見ても山家育ちの觀があります。力瘤を入れて批評する程の事はありません。

□ 金熙明氏

一、此の間は同黨の分裂前に對するものであるにも係らず同答は總同盟系の右翼團體が同黨から脫退した後の變つた意味のものですが、何んと云つても分裂後の同黨は前科者ですし、總同盟系も愈々天下の注意を喚起する焦點の第一人者たる要素と實際を具有してゐる以上、今後の進み方如何で大成するでせうし、總同盟とも再び共同戰線を張ることでせう。分裂は無產階級の力の消耗である。悲しむことは出來ても喜ぶことは許されない。今後の總同盟のお受と信念と自重はお互の力と陣營を益々堅實となり、勞働農民黨の反省の促進ともなり得るでせう。

二、徹底的に排むべき日本無產階級の敵である反動的僞善家の寄り集りです。信ずるに足るものではありません。

□ 寺島宗一郎氏

一、階級的立場より飽迄も單一政黨を希望するが當然總同盟一派の脫退は免がれまい。然らば當分殘餘の者は勞働農民黨を固守するより致方ない。當分小黨分立だ。結成は時期の問題である。單一政黨の必要は論ずる迄もないが今日の狀態では困難であらう。

二、普選による民衆の政治的自覺を恐れ既成政黨の買收策と總同盟一派の野心家の策動の現はれである。勞働農民黨に龜裂が生じたのも此の爲めである。

三、純然たる協調組合である八木一派は只政治的個人的野心を滿たす爲めに作つたもので、之れも四國の狀勢から見て、無產階級の共同戰線の破壞者である。

× × × ×

將來の黨の發展も無產階級の運命も思想運動者の指導方針によつて分る。

□ 石川三四郎氏

私は政黨といふものはプロレタリアには大ていは有害無益のものであると信ずる故、勞働農民黨も、日本農民黨も、關西民衆黨も、此意味からは同列に見たいと思ひます。政黨はブルジョア又は、ブルジョアたらんとする者の事業としては結構でせうが、民衆解放の事業ではありません。故に、唯だ希望する處は成るべく害毒を少なく流して貰ひたいと云ふ事だけです。

□ 林田氏

一、勞働農民黨から總同盟が脫退した事は遺憾に堪へないが、共產黨の人達は日々反省して此の黨から遠ざかる事が日本の政治運動を健全ならしむるものである。之に對して總同盟の態度の正しき事も知る事が出來る。農民組合の幹部は地方に歸て小作農民の程度を知る事が必要だ。

二、に對する批判として、急進小ブル共の食物になる事を恐れる。希望はない。

三、雨後のタケノコ的な日本の政治期に對する現象の一である、此の黨の如きは次第に消え去るか、ブル黨に買付ける爲めの彼等の野望だ。

——◇附 記◇——

此の外に二三、回答を寄せられてゐるが何れも締切後の到着でしたから、載せられなかつた事を遺憾とする。

—(編輯子)—

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本進化の過現末（一）

工藤勝市

我々は過去に於て歴史に就いて何を學んだか？それは物好きな感情を唆す戰爭や神話の物語を學んだに過ぎない。即ち俗に云ふ偉人の歡賞こそ歴史の目的であり目標であつた。而して社會の進化を知らす、自己の進むべき處を知らす、只徒らに現社會を呪ふに過ぎなかつた。×××××××××××××××××××××たゞ社會進化の過程を知り、未來を探究すればそれでよいのだ。で、玆に日本進化の過現未と題して少し許り書く事にした。

一、原始時代

人類が此地上に現はれた其時日や其實際的生活が何んな風に行はれて居たかは未だ判然しない所である。が然し一つの集團的生活即ち、社會的生活を營んで居たと云ふ事は多くの學者の推測する所である。而して又何萬年か何十萬年かの以前に人間が生れ出て居た事やそして所謂歴史に現はされた原始時代の人間が共産制度の下に在つた事は多くの人の肯定する所である。

古代の人間は豐富な自然物によつて生活して居た。其生活資料を得る生産要具はすべて共有であつた。そして、共有の生産要具によつて得られた生活資料は各人の必要に從つて分配され、決して獨占などは無く生活資料に窮する樣な時は其全員が苦しみ又剰餘した時は全員が樂しんだ、勿論其處には金もなく權力もない。壓迫もなく搾取もなかつた、すべては平等、與へられ相互扶助的に生活し掠奪等は毫も認める事の出來ない共産主義社會であつた。古代に於ては幼稚な共産主義社會であつたのであるから其處には、私有財産制度は絶對に認められず、それによつて現社會（資本主義社會）に於けるが如き生産過剰、失業、飢餓、恐慌などに苦しむ樣な現象は絶對になかつた。

然れども時日と共に人口は増加する。人間には絶間無き物質的慾望がある。それは常に生産力の増進に努力して居る。それが爲め自然物によつて生活せし原始人は自然物（例へば草木の實や根を食つてゐた）の缺乏、不十分に當面したのである。そして遂に生物は彼等の生活資料に充てられた。陸上、水上の生物が暴力的に征服された所謂古代に於ける漁業時代、狩獵時代である。なほ進んで其等の生物を應用する事によつて生産力は嵩められたのである。其處に牧畜時代が生れ次いで農業時代に入つたのである。天然的生活資料の減少及び、狩獵、漁業に於ける生産品の缺乏によつて彼等自ら生活資料生産に努力したのである。斯くして農業時代が益々盛になると同時に性や素質の相違から極幼稚な分業が行はれる樣になつたのである。それが爲め一層生産力は嵩められた。其の結果其處には原始的私有財産の形式が生れた。而して漸く交換が行はれる樣になつた。

例へば米を澤山持つて居る人と麥を澤山持つて居る人とが互に其剰餘を交換する樣にすべての生産物が交換された。然れども其交換は決して今日の樣に營利的に行はれず、只單に自己の異つた生活資料を得んが爲めの交換であつて決して不正な交換ではなかつたのである。而して地域や氣候の變化から生産物の相違を來たすに反して生産力は一層嵩められる、從つて交換は益々頻繁に行はれるのである。遂には其交換は欺瞞的掠奪的のものと化して行つた。そして人間同志が掠奪し合ひ、又鬪爭する樣になつたのである。異種族間に於ては互に嫉視し仇敵となる事は免れなかつた。即ち其處には正義もなく同情もない、只我利を求めんが爲めに汲々としてゐるのみである。

斯くて交換は商賣的、營利的のものとなり遂に集團的社會共産制度も傷手を負ふに至つたのである。そして其處には掠奪、搾取、鬪爭其のものゝ奴隷制度の出現を見たのである。

二、奴隷制時代

此奴隷制時代は社會進化の過程として必然的のものである。

交換から生れた掠奪は遂に闘爭と化し、そして其闘爭に負けた方は捕虜となり、或は耕作に或は運搬に種々な過激な勞働を强制せられ、牛馬同樣に使用され飼養せられたのである。そして古代に於て其最も顯著な埃及ローマ、ギリシャの一大奴隷時代を建設したのである。又彼等は一大文明をも建設したのである其奴隷使用によつてなほ一層生產力は嵩められ遂に生產物は單なる商品として取扱はれる樣になつた。そして私有財產は益々勢を得て、遂に土地の個人所有が奴隷時代の發達と共に生じて來た玆に於て全く原始共產制度は破壞されて終つたのである。

斯くして個人的交換が盛大に行はれる時、當然其の間に立つ仲介者なるものが生れる事は必然的の事である。所謂商人なる不勞利得階級が生れたのである。此不勞利得階級がやがて現今の資本主義社會を生みだす卵であつた。

交換が社會的活動の常規となるに從つて其處に一定の尺度が必要となる。即ち其處に貨幣なるものが生じた。其貨幣は蓄積する事が出來る、故に當然又金融の貯蓄が行はれる。此金融資本の貯蓄こそ現今のブルジョアーの基礎を作る大なる一要素であらねばならぬ。

商人は掠奪者である。一つの搾取者である。彼等は他人の生產せる生產物の仲介者として、自已の生活資料を勞働せずして得、常により多く奪取せんと努力するものである。

彼のローマ、ギリシャの一大文明は實に此奴隷の勞力の搾取と掠奪の產物である。然し絕對的自己意志の壓迫と、不遇の生活、過度の搾取と掠奪は到底長く持續する事は出來ぬのである。却つて、能率の底下を來たしたのであつた。其れが爲めあのローマ、ギリシャの文明も滅亡した。即ち奴隷制度の組織内に於いて其生產力は餘地ある限り發展を遂げ、そして顚覆し其處に又、新たな農奴制度が現出されたのである。

三、農奴時代（封建時代）

古代文化の崩壞によつて奴隷は土地に對して若干の權利を與へられた。然し未だ其農奴は封建領主の支配下にあつて常に搾取され掠奪されて居た。農奴制度其れは半奴隷時代なのである。封建制度の下にあつて多くの無產者は若干の權利と自由とを與へられたがそれは單に封建領主の生產力を嵩めさせるに必要な餌に過ぎぬのである。彼等は其餌によつてより一層掠奪と搾取とを恣にした。

當時生產方法の發達と共に分業も發達した。そして都は益々商工業が盛大となり、すべての生產品の集散地となる樣になつた。それに從つて地方の農民（農奴ではない、中流農民を云ふ）は自己の剩餘を市場に出して貨幣を手にする樣になつた。又こと同時に同手段を領主も取つた、そして彼等は二重の搾取を敢えてしたのである。

我日本に於ては奴隷時代は極く短期であつて所謂農奴時代、封建時代が最も長い歴史を有して居る。

神話の頁から始つて原始共產主義社會の時代に入り、それから北條、源、平の盛衰期から奴隷時代とも云ふべき掠奪時代が始つた。互が反目闘爭し敗者が勝者の奴隷となり搾取され、掠奪されて居た。斯くして闘爭と掠奪の奴隷時代に入つた。我國には西洋に見るが如き急激なる社會革命は行はれなかつたのである。故に奴隷時代と農奴時代とを區劃する事は不可能であらう。

戰國時代には多くの野心家が自ら掠取者の掠奪者の宰相たらんとして闘爭したに過ぎぬ。信長も秀吉もこれに成功した。次に農奴時代の最後の段階に現はれたのが家康である。德川の夻農奴制度の斷末魔は遂に種々の思想と騷擾を捲き起した。

先づ由井正雪の陰謀が起つた。次いで切支丹宗敎の慘殺が起つた。德川三百年間に於て彼等は其手先として掠取し掠奪し、遂に斷末魔に於て、牛馬以上の殘虐を敢えてした又各所に百姓一揆が蜂起した。半奴隷制度に絕えざる農奴は遂に結束して其生產要具を以て武器となし立たざるを得なかつたのである。總ての自由を拘束され奪取され、膏血を搾取される農奴の憤起は亦必然的のものでなければならぬ。

次で、明治維新の代表的大立物たる吉田松陰が現はれるに至つた。彼も志中途にして發覺され遂に明治維新を見ず地下の人となつた。然れどもそれらの人は皆帝國主義を基礎させる革命兒である。而して此革命兒等の帝國主義を取りしは其時代に照合したる時亦、必然的の現れでなくてはならなかつた。

多くの犧牲者を拂つて遂に正義人道なき闘爭と掠奪そのものの農奴制度は全く破壞された。即ち明治維新である。（以下次號）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

小作法案を評す

神庭仲之介

一

過般來如何に地主擁護を民衆的假面を以つて蔽はんとして、御用學者、古手官僚をもつて鋭意作製された小作法要項を骨子として、愈々來議會に提出すべく農林省の方針は決つたそうである。

元來小作法は、小作人の地位向上を圖り、現在の如き所有權横暴を極度に制限するを以つて目的とするものでなくてはならぬ。しかし、小作法の本質に反して、ブルヂョア政府は小作法をして、地主萬能の法律的確保を期しつゝある。乃ち、この小作法案は、生産者たる農民は、如何に貧乏してもよいと云ふ驚くべき思想を中心として組立てられてゐる。これ、小作人が奮然として立たねばならぬ理由である。

該法案を微に入り細を穿つて論ずる事は小論の望まれぬ所である。要點を指摘してその正體の何たるやを曝露すれば足る。

二

第一に債務不履行による解約に於いて、現今民法が小作人の債務不履行ある時は、相當の期間を定めて履行を催促し、若しその期間内に履行せざる時は直ちに解約をなす事が出來るので「甚だ小作人の不安定、農事上の不利益」であるので、一年分の小作料を一年間滯納した時、引續き三年に渡り各年の小作料の一部を滯納した場合、又は滯納が二年度以上に渡り其の總額が一年分に達したる時は、小作人に對して二ヶ月以内に支拂の催促を爲し、若し其れに反すれば初めて契約解除を爲し得るものと決定しようとしてゐる。

かゝる事によつて「農事上の不利益」は利益と化し、「小作人の生活の不安」はすくわれると云ふのである。しかし、「惡意の小作人」は以上の猶豫を認められず、「農事上の利益」や「生活の安定」にはありつけぬのである。

「惡意の小作人」とはどんなものか。地主の目から見れば小作料を滯納したり、小作組合に入會したりして、小作料の値下を愚圖愚圖云ふ樣な小作人は總べて「惡意の小作人」である。かゝる小作人に對しては「恩惠」の「オ」の字もあたへてはならぬと云ふのが彼等の考へである小作人が小作料を滯納するに至つた理由の有無は敢へて闘せぬのである。「德義上からも許す事の出來ない」小作人である。乃ち、此の小作法案の主要目的は一にかゝつて「惡意の小作人」を屈服せしめ、その小作人の本家たる組合を叩き壞す事にある。此れが、所有權萬能の、地主の爲めには小作人は働いて働いて、而して貧乏してもかまはぬと云ふ制度の下の、「小作人保護立法」たる小作法と云ふものの正體である。

三

もと〱、小作紛爭等の農村不安は、農民の生活の脅威から發生するものであつて、此の農民の生活を安定せしめてこそ、初めて保護立法たる小作法制定の意義があるのであつて、これを除外しては決して小作法の價値は發現するものではないのである。農民の生活難が農村制度改革の必要を感じて、燎原の火と化した「惡意の小作人」を、かゝる地主法たる小作法を以つてしては、其の膨脹を見こそすれ、決して其の絶滅を圖る事は出來ないのである。

ブルヂョア政府は、この法律によつて「惡意の小作人」を亡し、地主の云ふ通りになる善良な小作人を保護すると云ふかも知れぬが、如何に善意の小作人と雖も此の生活の苦痛に盲從する事が出來ない。しかも、生活難が不合理なる社會制度に基因する事を知つた小作人は、益々所謂「惡意」を胸中に藏するに至る。生産者たる農民が、不合理な社會制度によつて、搾取さ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れ、壓迫され、延いては社會の富の蓄積をも阻害されては、社會改造の念、ブルヂョアから見れば「惡意」が沸然として湧き上らずにゐられようか。しかしこの惡意たるや、人類平和の理想から、共存共榮の立場より見れば、善意である。たゞ社會平和には關係のないブルヂョアの目から見れば惡意である。

四

尚其の小作法案中には、供託による立毛差押及び立入禁止の制限として、小作料を供託する事によつて、立毛差押及立入禁止を制限せんと定めてゐる。乃ちこれによれば以上の（立入禁止、立毛差押）ものは往々にして小作爭議を紛糾せしめ、その解決の困難を來し、農業上に及ぼす弊害も、風敎上に及ぼす影響も甚大である爲めに「地主の利益を保護」する條件の下に、執行方法を相當緩和する必要があるから、裁判所の職權をもつて、或は小作人の申出によつて小作人をして小作料（現物にても可）の一部、又は相當の保證金を供託せしめて、其の手續の全部又は一部を停止せんとするものである。而して其の供託物は、現行供託法による供託所以外に、農業倉庫、又は産業組合等をも供託所に指定して供託せしめ「供託物の一部引渡」なる規定によつて、地主が公租公課を納付するに差支へる場合なきにしもあらずとなし、裁判所は職權をもつて、又は地主の請求によつて、供託物の一部を地主に引渡そうとするのである。

過去の爭議の實際に徵しても小作料を一部納入する事は、反つて地主の鼻息を荒くして、爭議を延引せしめてゐるのである彼等はかゝる法律を作る事によつて、自ら武器を求め樣としてゐる。地主はこの供託物の一部引渡しによつて、營利の觀念を一時捨てたなら、敢へて損失を蒙らぬ譯であるから、彼等の小作人いじめは益々猛烈になるであらう。

五

總べての小作爭議は、農民の生存權確立の問題から源を發するのである。農民の要求が、地主と衝突して農村不安を釀したとしても、それによつて、其の要求の正當なるは、いさゝかも傷けられないのである。然るにかゝる正當なる要求を惡化せる小作人の聲として簡單に片付け樣と爲し、小作地を引上げ、引上げる際にも、其の小作人の惡化せる理由のもとに賠償の責任なしと規定する如きは、小作人の生存權を無視する態度であると云はざるを得ぬ。ブルヂョア階級は今や全力を擧げて目覺めたる農民を壓迫せんと企圖しつゝある。しかし、知るべし。生存權を根抵に持つ社會民衆の悲痛なる聲を如何に押へんとしても押へる事は出來ぬ。農民の生存の權利を、一部少數地主の爲めに左右せんとするが如き制度はどうしても正當なるものとは肯定出來ないのである。地主のかゝる反動的態度は、漸次合法的ならんとしつゝある農民をして再び逆轉せしむる憂なしとせぬ。吾人はこの事を深く考慮せねばならぬ。

六

要するに、今次の小作調査法案なるものは、地主本位反小作人的である。地主階級の農民組合員壓迫の法律的挑戰以外には何物も無い。小作人の代表を招待して意見を聽いて作つた案は反動以外の何物でもなかつた。

此の法律案が法律とならんか小作人は悲慘なる運命に葬られて、生産者階級暗闇の時代となるであらう。しかし、暗夜もやがてしのゝめとなる。太陽の光は闇を飛散せしめるのだ。農民は結束して、かゝる地主萬能の法案を一蹴せよ。世は普選の時代である。吾等は殺到して政治的戰線に集まらねばならぬ。太陽を招き戻した淸盛はあつても此の無産農民の××的叫びを引戻す力は無い。

人類の平和は何時來るであらう。それは天から降るものでは無い。地から湧くものでもないのだ。無産階級自身の手によつて初めて訪れてくるのだ。我々はブルヂョアに期待してはならぬ。カウツキイは云つてゐる。

「資本家的博愛はだん〳〵臆病になつて來る。彼等は次第に勞働者保護を充分にする爲めに鬪爭する凡ての勞働者のみに一任して了ふ」（民主黨綱領）

全土の農民團結せよ。（完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

警官と演說會

不景氣と普選實施を前にして無産者の結合と自覺とを促すため安部、石川、德間の諸氏に依りて無産階級大演說會が市外○町のT館と云ふ寄席で開催された。何と云ふ素晴しい警官の御光來だ！　百四十人位の入場者に對し、辯士席にも便所の裏にも入口にも、横丁にも四五十人の警官がうよ〳〵だ。吾々無産者の肉を喰ひ骨迄もですゝる強欲非道な資本家や××。

無産者の演說は人殺しの相談所でもなく、別段井戸に毒を投下するとも云ふのでもなく、それは立派に科學的に人類至善最高の理想國たる自由と平等のよりよき社會を此地上に建設すべく高らかに黎明期に叫ぶ神聖なそして熱烈なる人類愛の聲に他ならない。學生の雄辯聯盟會、寺院の說教、教會の祈禱式等の何處にじろ〳〵聽衆を睨み廻す資本主義の犬がうろついてゐるであらう。

現今資本主義組織によつて癲癇中毒して型に篏られた頑迷な警官のもとに、吾人が前に擴げられた眞理の正しき路を進んで正當な權利を行ふには只民衆の一致團結の他何ものも無いのだ。團結は力だ。更に不法極まる狂的な「注意」「中止」の連發に付いては後日記するであらう。

―（東京　倉澤喜美男）―

偽善的實費診療所

本誌十月號にも報道されてあつた如き偽善的醫師の幼兒獸殺事件は當村にもある。××××氏の息女××××（三歳）は去る九月二十七日瀕死の狀態に落入つたので早速近隣の開業醫に診察を頼んだが、醫者の妻は××氏の服裝をじろ〳〵見て留守と拒絕したので止むを得ず約一里程ある××町の、實費診療所迄その瀕死の病兒を背にして診察を頼んだ所夕食だから一時間位しなければ診察出來ないと突つ返したので瀕死の病人あるを告げ無理に頼んだが聞入れてくれなかつた。それから又外の醫者に診察をして貰ふと思つて出んとした時は既に冷たい死人となつて居た。開業醫法によると「理由なくして患者を拒絕する事は出來ない」條文がある。其爲に醫者には國稅が免除されて居る。殊に實費診察所の如きは社團法人で政府が多大の援助をして居るにも係らず、斯る非人道行爲を日常の茶飯事の如く心得て、敢へて間接の殺人をして居るのである。醫者の貧乏人いじめ程憎むべきものはない。營利を目的とする資本主義社會に於てはこんな事は當然の事であらうか？恐るべき呪ふべき社會と云へやう。すべてが我利の爲め、少しでも澤山搾取しやうとする社會である。何たる社會だらう。

―（兵庫縣 i・II生）―

戰雲漲る江州彦根

十一月七日彦根支局より飛報があつた。「愈々××でもあるのか」と思つて、東海道米原驛から毎度お馴染の赤切符をば、やつと奮發した。午後二時、支局へ到着、先づ俺ドンの膽玉をデングリ返したのは床の間××。彦根を去る二十里石山から早くも太田兄が來てゐる。支局の吉田兄、同妹及び馬場兄、專賣局紡績工場等の兄弟併せて十一名何れも眞赤眞黑の地獄のパノラマにでも有そうな顏つき許りだ。

吉田兄より當地松尾工場同志等の不當解雇問題が大勝利で解決した報告があつた。一同の勝鬨は赤旗の歌となつて一齊に絕叫した。隣家に吉田兄臨觀の大命を受けて來やがつたポリ公奴吃驚仰天、妹のド多福奴、張番の意味か十九の年甲斐も無く幼い餓鬼共と表で飯事をさらしてゐる。それより進めの組織運動に就て協議を凝らした。毎月第三日曜に同志會合、來る正月に本部訪問等を決定した。滋賀縣支局開設以來第一同の正式會合はかくして晩食を共にし午後九時迄熱心に新社會建設の方途を研究した。當日の會合で同志等

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が一番痛快に感じたのは彦根で發行せらるゝブル新聞江州中央新聞に連載の渡邊とか云ふ博士の社會主義攻擊記事に對し「吾等の信ずるマルキシズム」なる題下に吉田兄溜飲の下る樣な痛快な駁論記事を湖東日日新聞に堂々と連日執筆して居る事であつた。何しろ先のブル新聞が偉らそうに文學博士渡邊世裕と自慢らしく肩書を使つて居るに對し、日稼人吉田源藏と名乘りを上げてゐるのだから面白い事限り無しだ。なーに心配御無用、間も無く俺達の社會は來るワイ。同胞は目醒め兄弟は次第に殖える彼等の斷末魔も目前だ。

—（滋賀縣　西川文策）—

悲鳴而して絶命

全日本のブル共が公園だ山だと酒と肉に耽溺して居る、櫻咲く四月俺は初めて裁判所檢事局へ出頭した。長廊下暗室土職等成程陰慘なる民衆を威嚇するには充分な處だなと第一に直感した。露骨な特權階級擁護機關としては設備内容至れり盡せりだ。檢事の陣取る椅子、俺のかける椅子、書記小僧のと各々皆其の構造裝飾が違ふ。幼少の時に耽讀した立川十錢文庫に出て居る大岡名裁きの越前守が一段高き處に小性に大刀を取らせ悠然と白洲を睨み付けた場面ソックリだ。只其の相違はチョンマゲ搾取と機械搾取のソレあるのみ。誘導的訊問、拷問強制自白等、時代の權力階級の擁護としての根本には何の拠りもなく、今も昔も同じである。俺等が、行動方法は極く微温にせよ、彼等の土臺石を揺らうと云ふ手合であるのだから恐怖の第一であるのも無理はない。調のすんだ後、檢事は頓狂な聲を擬つてノメマアク「君等に撃たれるのは覺悟してゐる。引金を引く時は一過擊つと云つてから打つて呉れ」。随々立派なお覺悟、此處ならずば聞く事の出來ない珍鳥の奇聲である。豫告してから打つて呉れとはチト虫が太い慾張つていらあ。然し檢事だつて人間だ生の執着は皆と同樣だ。×××
×××××××××××××××
×××××××××××××××
×××××××××××××××
×××××××××××××××
×××××××××××××××
×××××××××××××××
××××××××。搾取階級のために其の一命を投げ出した誤覺悟。もとより我等を威嚇せんの謀にせよ、年俸何千圓也を喰つて居る高等官だ純眞な一地方青年の前に此の謀を發するは明かに帝國主義のいかに行詰れるかを表はせる極なものである。大和魂の日本資本主義の斷末魔の悲鳴である。此の親にして此の兒あり田舍警察の部長さん曰く「日本ではいくら違つても駄目だそんな成功のない事は止めて呉れ」と派出所の岡ッ引曰く「僕等は何處に誠意があるか知らないで、それで居て嫌つて居るのだ」と。萬々上々の低能振り。かチャン／＼の洋刀の響は同じ無產階級としての生活苦がうなり、死んで了はうか巡査になろか彼等の出發點は此處にある。頂上を下りつゝある資本主義ソノ飼犬よ何處迄も忠實無能であれ！　×××××××
×××××××××××××××
×××××××××××××××
×××××××××××××××
××××××××××××。
××××××××××××××
×××××××××××××！

—（土佐　佐根森夫）—

法律の便ひ分け

俺の所在地に先頃ブル少年泥棒團の大檢擧が行なはれた。彼等少年は町内資產家或は名譽職を持つて居る者共の子弟共のみである。彼等の親達は日頃我々勞働運動者に對しては反對行動を敢へてし、又は排斥運動迄なして居る。彼等の子弟共が十數名申合せた樣に揃つて市中の商店／＼の賣品を萬引し、或は神社佛閣の賽錢を數十回に亘つて竊取した事發覺し、過般檢擧されたのである。が不思議な事には如何なる御規則か、或はブル階級者の爲めか秘密に事濟みとなつた。是れが爲め一部プロ階級間に昨今不平の聲盛に起り一問題惹起せんとしつゝある。

—（岡山縣　倉木晃南）—

支配者の恐怖

資本家及び支配者の輩に云はすれば俺達はことごとく不穩分子であり又危險思想の抱持者であるのだ。俺達の行動なり思想なりが果して不穩であり又危險であるであらうか。だが假に俺達の思想や行動が彼等の生存を危くするが故にかく云はれるのだとしても其思想行動の發生の要素は決して俺達にあるのではなくて彼等自身が作り出したものだ。

現代社會は個人個人の自由競爭の社會である。人間と人間が共食ひを仕合ひ人間に依つて人間が搾られ搾る奴と搾る奴とが搾りくらべをし負けた奴は人間生活の圏外におつぽり出されて家畜の如き生活を餘儀無くせしめられ、勝つた奴は負けた者の權利自由を盗み歡樂に淫蕩に日も夜も足りない有樣を通常の事として見なければならない社會であるのだ。

人間の生活必需品の生產機械は人類全體の爲にのみ存在しなければならぬ筈なのに現在の社會では個人が利益を得る爲にそれを獨占して大多數の人は其の機械の獨占者の強制の下に何等の利益にあづかる事なく賃銀勞働者として働かされてゐるのだ。こんな世の中ではより以上の進歩した機械の發明は他の人間を墮落す虐殺の武器の發明だ。俺達を層一層搾取する道具の發明に外ならぬのだ。又小企業家は完全に落伍者となり俺達の兄弟が多數になり俺達の賃銀が低下し勞働條件が惡くなる主要の原因となるのだ。其の上進歩した機械は在來の熟練工の仕事

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

た奪ひ勞働は簡單化し失業者を多數に出す、このために勞働者は手枷をされた上に首枷足枷をされ、而して積ぐつわまではめられて行くのだ××××××××××××××××のもとに俺達の兄弟は日一日と××××無産大衆は滅んで行きつゝあるのだ。斯の如き現狀は××のである。俺達の同志は多數になり俺達の生活及總べてが惡ろく成る依つて××。

彼等が搾取の存續は現在の××××××限りだ彼等は恐怖と脅威から逃れる道は最早やつきたのだ。彼等は之の魔物を呼び起し現在では制御する力を失ひ、慄へて自滅して行く。横暴と殘忍は遂に之の世から消え俺達の自由と友愛の××××××××××××取られればならぬ。

—(東京　赤木　龍)—

聲明書

頃日來、勞働農民黨の分裂騷ぎに際し、我全國水平社が右勞農黨を支持するため、從來の政治運動保留の態度を棄てゝ參加するとか、甚だしきに至つては、全國三百萬同人が參加したとか頻りに喧傳されたる夫れ等は何れも全國水平社とは絕對に無關係である。實に野心家共の惡宣傳に過ぎないのである。

即ち、我全國水平社はこの政治運動可否の件に就いては大正十三年度第三回全國大會には「水平運動は政黨政派を超越するの件」が可決せられ、同十四年度第四回大會では「政治教育普及の件」が水平社無産者同盟より提案され、本年度第五回大會での「無産政黨支持の件」は保留となつてゐるのである。その大會後開かれたる中央委員會に於ても、亦何等の機關に於ても我全國水平社は無産政黨問題を議したる事もなければ、從つて可決したる事もない。

今や深刻化せる差別爭議は各地に頻發せるの時、水平運動の進展どころか、全無產階級解放運動を混亂と墮落へ導くものであるとさへ云はれてゐる政治運動問題のために昨日は加盟、今日は脫退、と與圖ついてゐるような悠長な暇は我々の水平運動にはない。況んや四分五裂したる一勞働農民黨を支持するの理由は全然認められない。

我々はこの事に關し十月二十八、九の兩日勞農黨本部に委員長杉山氏を訪ひ、訊したる結果夫れは一部政治運動の好きな人々（と云ふよりも分裂後の勞農黨を好く人々）が水平社勞農黨支持聯盟の名に依つて加盟したものであると言明された。

水平社「然らば、何故に一週間以上に亘り都下全市及び全國の新聞に麗々しく、仰々しく全國水平社が加盟せる如く掲載されたるに對し、全國水平社の全國的動搖をも顧みず默認せられたのは勞農黨本部並びに委員長たる貴下等は事の誇大に宣傳せられたるを快とし便とせられたるに依るや？」

杉山氏「然らず水平社勞農黨支持聯盟は全國の人々が集つて組織されたるものと思つてゐました、内容もよく知りませんが……」

水平社「全國水平社にとつて重大問題であり延いては攪亂となるが如き事であるに對し聲明書を出すの意なきや？」

の問答に對し、杉山氏は快よく都下の新聞社通信社並びに勞農黨關係各支部に左の聲明書を發表する事を約せられ且つ實行した。

聲明書

過日來より新聞紙上に於て全國水平社が勞働農民黨に加入せるが如く報導せられてゐるが夫れは水平社勞働農民黨支持聯盟の間違ひである事を特に全國水平社關東聯合本部の御注意により右の事を御通知致しますから誤解なき樣御願ひ致します

大正十五年十月二十九日

勞働農民黨本部

曾ては分裂前の勞農黨には問題となつてゐた——三團體排除水平社無産者同盟は考慮す——の團體たる水平社無産者同盟は、刻下當面の問題より忽然として影を潛め、突然として水平社勞農黨支持聯盟なる團體が現はれたのは抑々何を物語るか？夫は賢明なる無產階級解放運動戰線の人々の判斷に待つ。

斯の如く陋劣極りなき奸手段は似非同人高橋某問題、東京芝浦勞働組合乘取策等に失敗せる共産黨一派政治運動屋の常套手段である。而して彼等は此の手段によつて民衆を踏み台にし、新しき支配者たらんとの野望を逐せんとしつゝある。時恰も政治シーズン憐れにも彼等は普選を前にして新代議士を夢み藻掻いてゐるのである。

我が全國水平社關東聯合會本部はこの當面せる問題、即ち勞農黨に全國水平社加盟云々が野心的逆宣傳に依るものなることを、徹底させ且つ政治運動に對する態度を鮮明にするため全國的大運動を起すものであることを併せて言明する。

一九二六年十一月九日

—(全國水平社關東聯合會本部)—

兄弟に訴ふ

今や地方に於ては補習學校と云ふ夜間學校が開かれ、我が小豆島に於ても毎夜青少年を集めブルの提灯を持つ事を敎へて居る。此間友の一人が補習學校から歸へつて來て云ふ事に今日校長が次のやうな事を說たと「社會主義と云ふものは國家を滅するものであつて云ふ迄もなく非常に惡いものである。で私は絕對に反對する。諸君にして遊んで食はんとする者は宜しく社會主義者となれよ」。諸君！何たる無智な而して侮辱的な言葉であらうか。理論もなければ根據もない。唯だ反對せんが爲の反對である。此一語によつて見ても學校

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の先生連は社會主義の何たるかを解せず、否社會主義と云ふものは恰も勞農ロシアの手先か、偉大な陰謀者の樣に心得て居る。かゝる奴等こそ資本家共の手先となつて自己の營利のみ計らんとする巧利主義者である。偉大なる間接的僞善者であり、搾取者であり、陰謀家であり無產者の憎むべきものである。

　全國の兄弟姉妹よ！××、××××××××××××××××××××××××××××××。斯くの如くブルジョアの毒手は八方に迫り我々プロレタリアをして永遠の盲目に陷入れんとして居る。全國の無產者よ！　我等は我等の無產學校を創設して、以つて徹全明確なる階級意識を喚起し、完全なる自由、平等の社會への教育を施すべきである。

起つて努めよ！

—(香川縣　澁川國雄)—

忠犬の暴言

資本主義が最後の發展段階たる帝國主義に達すると資本集中の爲×××××××に依つて生活難に苦しめられつゝある多數のプロレタリアを生じ、そして經濟界に一大恐慌を起すのは之れ資本主義經濟組織の矛盾が生育したものだ。

我が臺北に於て「自己は資本家の走狗だ」と云ふ樣な事を云つた警官の事實を發見したので大要を記して我がプロレタリア諸君の參考に供す。

　事件の內容は斯ふだ。即ち九月拾七日吾臺北支局のC君が九月拾二、三、四、五、六日の五日間無產青年の主催に係る宣傳講演會が無智なる警官の不法なる解散、並に言論に對する壓迫を憤慨し臺北文化講堂に於て、臺北無產青年有志の主催の同情講演に參加したことに由つてC君が其儘直に檢束された。そして翌日臺北警察署の警官である×××はC君に向つて「君等無產青年は怪しからん。常にブルジョアがどうだこうだと不穩な事を口にして、愚かな民衆を煽動するなんてひどいな。君等は馬鹿だ。現在の資本主義社會組織を不當とするなら、見ろ！此樣に我輩が直ちに君等を檢束して終ふよ。もし君等が反省しない時は吾等は罰する法律はいくらでも持つて居る。強いて反抗の氣勢を上げるとすれば我輩の後に君も知つて居る通り北は基隆を始め、南は恒春澎湖島に至る迄軍隊が居るぞ。臺灣には土匪刑罰令と云ふのがあるのだ此の場合に適用ができるのだ」と。

　噫！　何と云ふ暴言だ。我々被搾取階級たる無產者が生活の安定を求める爲に搾取階級たる有產者並に不當利得をして不勞にして物を得やうとする資本家に對して反抗するのは何故惡いのか。かゝる暴言を吐き出すのが無產者の一人である警官、否資本家の走狗だと自白する警官とは以つて臺灣の無產階級がどんなに×××××の爲に搾取されて居るか？　どんなに壓迫されて居、どんなに苦しめられて居るかを知る事が出來ると思ふ。親愛なるプロレタリア諸君よ！　弱き民族のプロレタリアの苦痛は諸君等の想像の出來ぬ程ひどい目に合はされて居るのだ全世界のプロレタリア諸君よ！　諸君が帝國主義的資本主義の救命星である殖民地に注目せよ！　そして奮起して殖民地で×××××爲に苦痛をなし、且つ瀕死狀態にある無產階級と提携して共同戰線に立つのだ

—(臺北　黃・白)—

反動ゴロの迷論

近頃俺は法學博士と云ふエプ札を持つた反動ゴロの元兇、蜷川新の迷論卓說を在鄕軍人會の機關誌「戰友」で見た。在鄕軍人會と云つたゞけで諸君は既に大抵の想像はつくであらうが、イヤハヤ恐れ入つた御用犬振りを發揮してゐる。それは全世界の勞働階級の胸に或ものを深く刻み込んでくれた所の彼の英國のゼネラルストライキに對して政府側の執つた政策に花が咲いた事が、そうしてブルジョアの危急を救ひ得た事が御用學者の一人である彼れは何んでも狂暴其極に達して仕舞つたものらしい。

「總同盟罷業と非常識」と題して堂々たる論陣が布かれてある。先づ彼は云ふ、英國の大學生は義勇勞働者となり罷業破りの第一戰に起つた。そうして婦人はタクシーの運轉手となり、警察官となり、人民の味方となつて罷業團を敵視した、憎んだのだと。そうして此れが大英國の常識なのだと迷論を竝べて居る。

　社會が久しきに亙つて不景氣の暗雲が閉ぢこめてゐる。苛酷なる勞働條件の下に虐使されつゝある我々賃銀勞働者等が等しく峻烈な響を以つて胸をえぐられるものは何んであらうか？　馘首、失業、放浪、嘲笑、罵聲、餓死、資本主義社會に於てのみ見られる所の恐慌の黑雲に脅かされ、不安と焦燥の內に苦悶しつゝ俺達は斃れて行かねばならないではないか。彼の高唱する常識論は斷じて其時代に於ける正義の觀念に立脚した至純至淨なものでないのみならずブルジョアジーやその寄生動物のみに認められる畸形的常識である。

　我無產階級に對して執る所の、巧妙にして卑劣な戰術に外ならぬのである。彼はなほ續けて云ふ。日本にも今頃になつて罷業權を認めよと騷いでゐる連中がある。然かも此等が自ら新人と稱するに至つては餘りにその世間知らずの迂愚を嗤はざるを得ない。此の腐敗物や、パチルス退治に全國の在鄕軍人諸氏は極力奮鬪しなければならない。と人も無げな彼の大氣焰には片腹痛い。腐敗物やパチルスがそう云ふ已れ自身である事に氣が附かないらしい。

—(名古屋　小野貞次郎)—

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

殖民政策裏面研究（一）

金熙明

緒論

ツオツフル（Prof. G.zoeptl）は殖民地に就て左の如く語つた『殖民地とは或國家の世界經濟及世界政策の目的のためにする海外に於ける統治區域なり』と、即ち殖民政策は經濟的企業を基礎とさせる政治的權力の普及であると謂はざるを得ない。

殖民事業は古代既にフイニシヤカルセージ、希臘、ローマ等により行はれ、更に中世紀に至つてはフロレンス、ゼノア、ベニス等の殖民的經營を現出したけれどもその最も盛に殖民事業の發展を見るに至つたのは、近世の初めにアメリカの發見（一四九二年）のことである。ブアレンチン（Valcentin）は、近世殖民地事業の發展を左の五期に分類してゐる。

第一期　西班牙葡萄牙時代（一五九八年以前）
第二期　和蘭時代（一五九八――一六七〇年）
第三期　英佛時代（一六七〇――一七八三年）
第四期　英國時代（一七八三――一八七六年）
第五期　遊星時代（一八七六年以降）

右に依れば即ち近世の初めに於てアメリカ大陸と印度航路とが發見せられて從つて殖民熱の旺盛な時代となり、西班牙、葡萄牙先づ殖民地經營に先鞭を着け更に和蘭の發展を見、英佛諸國の活動競爭となり、各國競ふて海外領土の擴張に努力し、經濟的發展の方策を講じた。しかしながら殖民地政策の歷史は自ら異れる意義と、方法によつて進化して來た。即ち十八世紀に於ける產業革命は、人類社會の凡ゆる制度と組織に一大變化を齎らした如く、經濟上に直接原因を有して居る殖民事業の上にも姿を代へて現はれたことは、中古代に於けるフイニシヤカルセージ、希臘、ローマ、フロレンス、ゼノア、ベニス等の征服的殖民政策即ち領土的觀念に基ける帝國主義的殖民政策に比し近代英國流の經濟的基礎に立脚せる政治的權力を高潮する帝國主義の二つの對立を見ることが出來る。即ち中古代の殖民事業は、領土の擴張と土地の開拓に終始したに比し近世殖民政策は產業革命の後を汲み資本主義的搾取と軍國主義的侵略のそれであると云ふことが出來る。

要するに殖民政策は何れにしても壓迫と搾取の手段である。マルクスは過去の一切の歷史を階級鬪爭の歷史と云つた。而して政治の根本原理は侵略にある有史以來幾何の民族が異民族の侵略の爲滅びて行つたことであらう。今日の強き者は弱き者を迫害し蹂躙するであらう。しかし彼等は明日の強き者のため同じく迫害され蹂躙されることを覺らなければならない。有史以來無數帝國は崩壞し、無數民族が滅亡した。ギリシヤやローマの文化は矢張り彼等の手に壞滅の挽歌を奏でたではないか。吾等は今日の強き者を信じそれを信頼する者ではない。吾等は今日の迫害のため明日の日を忘れる者では更にない。

政治は侵略であるといふ標題の下に殖民地政策の裏面を窺究することは被搾取階級として被迫害民族として蓋し無益な徒勞ではなからう。

殖民地の定義と統治の關係

殖民地とは一國家の本土に領土として從屬したる土地の稱へである。因にその國家の構成要素たる本然の土地を本土即ち內地と稱し、本土以外に於て領土權の行使せられる領土を稱して殖民地といふ。國家としての統治權は、元より本土と殖民地とに均等に行はるゝも、その統治の組織は同一ならざるものである。即ち憲法及び法律は、本土に於ては無條件に且完全に施行せらるゝことを以て通則となし殖民地に於ては之が施行を見ず殖民地に於ける法律は本國と相異る性質上の別個な、特殊の立

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

法司法規定を設けるものである故に殖民地は統治上に於て特別統治法域であり、法律上に於て特別法域である。即ち殖民地は本土の過剩人口の調節のため、帝國としての領土保存のため、生產品原料採取と生產品の販路擴張のため本土の利益を計るため有利に利用する統治法域である。

殖民地の意義

殖民即ちColni なる語は、拉丁語のコロニヤより轉化したるものにして土地田畝住處等の總稱であつたが、時代を經るに從ひその意味を變じ終に殖民地を指す言詞となつた。コロナスといふ語も亦同じく始めは耕作農民を呼ぶ名詞であつたが後一般に殖民地の住人を云ひ表はす名詞となつた。

ウエブスター氏はその辭典中に記して曰く殖民とは母國を去り遠隔の地に移住し開墾農作に從事し茲に永住しなほ母國の法律に服する人民の一部なりと云ひ、ジヨンソンは曰く殖民とは母國を離れ遠隔の地に移住する人民の一團にして國家の一部を移殖したるものなりと云つた。なほ佛國學士會發行の字典には殖民とは他國に永住せんがために本國を離れたる人民の一團にして漸次に組織をなし終に土着の住民となり有力なる一社會を建設するに至れる者なりと云ひプロチユースは曰く殖民とは普通外國の土地の上に、或ひは外國の住民の間に存住する義にして永續的なること同一國性を有する人民の集團たること本國の言語習慣を持續し外國民中に在りて判然一種の獨立せる社會を形成することの諸要件を具備する一團體を指稱した。

以上述べたるものに因れば殖民地は、本國を離れ他國に土着永住すること、ヒユベシユライデンの謂へる所謂ウイルト、シヤフト、ゲビーツ即ち本國と同一國性を有する經濟的團體たることを以て殖民の觀念の要素とすることに一致したるが如し。しかれども之は殖民の字義とその觀念の要素に對する見解に限定され植民を以て開拓者群と同一視したる觀がある。之は即ち前に述べたる中代の政策に適合するものであり、近代の如き殖民事業が直接帝國主義保持の領土的、經濟的生命の實在であれば、最近に於ける殖民は經濟的企業を基礎とせる政治的權力の普及である。その意味でツオッフルの謂へる「殖民地とは或國家の世界經濟及世界政策の目的のためにする海外に於ける統治區域なり」とは能くその眞相を傳へたものと云はざるを得ない

蚊士

文士と云へば一體の豪い者の樣に思はれてゐる。ニキビ青年や斷髮、耳かくし等から囃て上げられ、天晴れ天才作家で納まつてゐる等は實際苦笑を禁じ得ない。文藝春秋、不同調、等々の雜誌社へ出入する自稱文士の有象無象比々皆然りである。一二篇の小說を書けば立派な文士で通るとは文士の相場も下落したものだ。だから世の人から蚊士と云はれるのだ。

殖民の種類

時代と場所に因つて諸國の執れる殖民政策は自ら異つた歷史と要素を持つてゐる。即ち古代に於ける希臘とローマは、同じく帝國主義を確保しながらその殖民事業に執れる政策は前者の分散的主義に比し後者の絕對的統合主義の如き、なほ近世に於ける西班牙、葡萄牙時代に比し和蘭時代及び英佛時代は種々な意味に於てその面目を異にしてゐる。

最近諸國に於て執れる殖民地政策の論究は之を別項に讓り茲に於ては單に之まで學者に因り究明される殖民政策の種類に就て論究することにする。殖民政策の種類は學者によりその標準を異にし從つてその分類名稱は素より區々たるものであるが茲に於てはその主なるもの二三を例擧するに止る。

ヘーレン(Hereu)は、之を分類して農業的、栽殖的、鑛業的、商業の四種に區別してゐるが蓋し之は殖民政策實施上の生產方面乃至日常從事せる產業上の區別に過ぎない。之を更に沿革的に、企劃的に觀察したるものがロツシエル(Roscer)の分類である。同氏の區別に從へば征略的、商業的、農業的、栽殖的の四種の分類を見ることが出來る。が之れは次號に於て概說することゝする。(未完)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

有閑婦人と女工の生活

岡安愛子

社會の進歩に連れて女は女としての利益を擁護する爲めに種々と婦人の運動が起つて來る。何々婦人會、何婦ノ協會、職業婦人會等と殆ど數へ切れない程多數の團體が利益へ或は解放へと奮闘しつゝあるが、是等の中には隨分如何はしいものもある樣だが、大體に於て眞面目と見て誤りはなからう。此の婦人團體を組織して居る團員は金持の奥樣や令孃などが大多數を占て居る。金と暇に有り餘つて芝居見物だの役者買ひだとか、あらゆる享樂に飽き〱して、其の代りに婦人協會でも組織し樣と云ふ誤連中なので、從つて其の運動は、要するに此の人達の誤道樂に過ぎないと云ふ事が出來る。それは其の集會を見ると解る。口では婦人參政權の獲得とか職業婦人を奬勵して經濟的に男子と對立して婦人の解放を計らう等と實に誤大層な事を云つて居るが、實は着物の見せ合會かお白粉塗の研究會の圏内を脱しない。勿論此の連中は生れながら姥や女中や家庭敎師などに附添はれてО小學校、S女學校と何の苦もなく生長して令孃となり奥樣と賞揚される樣に成つたので社會事情を知らない此の人達の誤道樂として至極結構と云はなければならない。

之に引替へて私共女工の生活は、母親の腹中に在る時分から生れる子供の一枚の着衣、一枚のオムツにも、一方ならぬ苦面と苦勞とでヤット出來上る。斯う云ふ苦の内に、義務敎育を終る。親達は待つて居たとばかりで、借金の埋草か經濟の補に仕樣とする。前借して子守奉公か近所の工場に女工と成つて働くか嫌でも應でも何れかを選ばなければならない。資本家共は種々と自分の工場の特長を噓まじりで書き立て大きな募集廣告を出して居る。嫁入準備もしなければと遂に工場に女工となつて働くのであります。然し一歩を工場に踏入れた時、忽ち今日までの考へは裏切られて、實に薄暗い機械の騷音が激しく埃が室内を灰色にして居る處で荒くれ男が行き歸りして居る樣は一寸乙女心を戰慄せしめる。此の危險を犯して何の自由も無く機械的に終日働く苦痛は女工生活をしなければ到底想像は出來るものではない。

何處の工場でも夫々組織が有る。主任、工長、組長等種々の名稱の下に階級が有る。平の女工には製造の量に一定の積任額があります。此の組長なり工長と云ふ連中が却々大變な人間なので、丁度小說に表はれる暴虐其のまゝで、少し自分の氣に入らない事でも有ると小言を云ふ劍突は喰せる呶鳴る、もし積任の最額だけ出來ないものなら眞似も出來ない樣な言葉を以つて罵詈する、直接と云はず間接と云はず、時には無恥と利得が生む大悲喜劇を演ずる事がしばしばある。兎に角此んな苦痛な中に一日の勞苦を終り、星を頂いて歸宅する。是が男子ならば宿で寢轉で讀書位は出來るのだが私達女は、親の傍に居るなら手助けはしなければ成らない。一家を持てば主婦として家庭の一切をやらねばならぬ。こんな調子で却々讀書などは及びもならぬ。無敎育は當然な事で全く被支配階級として貧乏に呻吟せしめるには誠に好都合なのであります。處で前にも云つた通り令孃貴婦人の生活と比較するならば、如何に彼女達が贅を盡して居るかゞ判る。斯の如く私達女工は矛盾極まる不合理な屈辱的な境遇に置かれて居る　然るに自分は女工でありながら是れを改造仕樣とせずに、如何にも恥かしいものゝ如く考へて彼等金持階級の奥樣や令孃達の眞似をしたり、是等の人々と交際する事を無上の光榮と心得て居る者がある。飯も食ずにどうする積りでせうか、御憐愍や御慈悲では此境遇からは脫せられない。私達婦人勞働者は階級的に確と手を握り合つて此の遊閑階級に對し進まねばならない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會小說

將校と巡査

吉田源藏

彼は所屬警察署長から、今日町はづれの陸軍航空聯隊の、飛行場敷地に於て爲される郡下靑年團の聯合運動會場の雜沓取締の命令を受けて、同僚よりも少し遲れて現場に出張した。

彼が飛行場に着いたときは既に式は開かれて居た、そして嚴肅な勅語や、聖旨の奉讀が終つて講話が始まつて居た。彼には演者の誰であるかも分らなかつたので、只其の文句だけを群衆の後の方で、途切れ〳〵に聞いてゐた。彼の側らには彼の知り合ひである町役場の吏員が立つて居た、彼は心持ち其の吏員に會釋の意味で頭を鳥渡下げた、其の町役場の吏員は、彼の顏を見ると直ぐ話し掛けた。

……困りますね、アンナ事を長々と饒舌つて居られたのでは時間がかゝるばかりで、今日の肝心の目的である地ならしが出來やしませんよ、早く運動をやらせて、うんと歩かせなけりやね……

彼は返事をする事を忘れて先づ聽いた、ナアーンだ今日の運動會は、飛行場の地ならしが目的なのか、成る程それでは××××、××、講演も不必要な譯だ、と心で彼は役場員に共鳴した。講演者は如斯き重大な目的が今日の運動會にあることは御存じないと見えて、なか〳〵話は盡きさうにも見えぬ。

「……でありますから、過激思想家が云ふやうな、階級と云ふものは我が日本にはないのであります、即ち明治維新に際しましては諸侯が藩籍を奉還して以來士農工商と云ふやうな、社會階級は撤廢せられて、今日は全く庶民は平等なのであります、士族も百姓もなし、商賣もせなければならぬのであります……」

彼は一體どんな人間が饒舌つて居るのかと、脊延びをしてそつと人垣の間から覗いて見た、そして彼はフヽン――と鼻を上向けた、けれども兎も角其の後を聞く事にした。

「……で、そういふやうな階梯で今の社會は、縮れた人を問はず人格と、智能とさへあるなれば其の實力を以つて、官公吏となり、學者となり、實業家となり其他宗教家、藝術家なんにでもなるのでありますす、昔の歐洲の帝國のやうに、登龍門に甲乙がある譯でないから過激主義者が云ふ如く、何も我が國に顚覆せねばならぬ理由はありませぬ、實に平等とは我が國にのみ見る事の出來る美點でありますす、只此の際特に國民が心懸ければならぬ事は、一般我々國民の內に、水平社同人諸君の因襲的感情を速かに打破することと、これでありますす、又水平社同人諸君も多くの人材が開放せられたる登龍門に送つて、且つ自制以つて水平運動の人格的眞目的を達成せられん事を推奬致します……」

彼は此時迄聞いてゐたが、此の後を聞くのが厭になつて仕舞つた。然し彼は今日は演說が面白くないから、運動會が始まらぬからとて、自由に歸る事の出來る身體でないのである。彼はそれから來賓席と雜太に書かれた、一番高い場所に納まつて、今更ながらブルジョアーが、將に崩壞せんとしてゐる資本主義社會を固持せんとして躍起となつて居るのに感心させられた。

「靑年團の運動會、在郷軍人會の集會、飛行場の地ならし、之れ總べて資本主義社會の崩壞期に瀕した刹那搔であるのだ」

彼はこんな事を考へた、そしてサーベルをバンドからガチャンと自暴にガチャ付かせながら外して、膝と膝との間に挾んで兩手で刀柄を握つて、其の上に顎を上せて、ぐつと講演者の方を睨んだ。彼の全身の血潮は今や全部が腦へ向つて流れて來るかの如くである。彼はエヘンと大きな咳拂ひをした、そして、ペツと唾を吐いた其の唾が、此の式場に臨席してゐる中學校の校長の息子の連れて來て居る、ジヨンと云ふ舶來犬の鼻先きに見事に引つかゝつた、然し彼はそれには氣付かなかつた。彼の頭の中は今此の眼前の反動講演者に對する抗議で充滿して居る。

「……なんだ藩籍奉還後階級がなくなつた。何を言つてやがるんだ泥棒め、惡戲化るない、四民は平等でも、持つ者と、持たぬ者との階級が嚴然とあるではないか、官公吏、學者、實業家、教育家、宗教家、藝術家、それがどうしたんだ、それは汝奴等のやうな持つ者の階級の只色別けではないか……

……登龍門に甲乙がないツ、誤魔化しも大概にしろい、大學を出て高文を取る即ち高等官僚ではないか、中等學校を出た者は普通文官試だ、貧乏人がどうして中學や、大學に行かれるか、軍隊でもそうだ、ブルジョアーの小伜は多くは高等の學校に學ぶから、軍隊に這入つても彼奴等の大多數は一年志願兵、でなければ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

士官學校、兵學校、幼年學校の出身だ。だから奴等は我々貧乏人の子弟を、馬上豐かに號令したらよいのだ。我々貧乏人は常に彼奴等の前衞として、罷り間違つたら一命を棒に振つて仕舞ふのだ……

……水平社の同人諸君も其の開放せられた登龍門に人材を送れだと、馬鹿にするない、冗談も休み〳〵に言つて貰ふぜ現に軍隊等の壯丁名簿にどんな事が書いてあるか貴樣知つて居るかい、陸軍少將とも言はれ、閣下とか何とか崇められて居たら萬更知らぬ事はあるまい、市町村長が、壯丁入營に先きだつて、聯隊區に提出する書類には、どんな事が書いてあるか、憲兵や警察官の志願者の身元調査簿にある「××××にあらざるや」と云ふ項目は何を意味するのであるか、登龍門に甲乙がないとは、何處を押せばそんな音が出て來るのだ……

彼は斯んな事を頭の中で繰り返してゐた爲めに其の講演者が何を言つたのやら薩張り分らず仕舞であつた。だが、どうやら講演も終つて運動會……イヤ地ならしが始まつたやうだ、彼は不平と、不滿に滿ちた頭を抱へて、恰度此處へ來合せた同僚四五人と來賓席に納まつて所謂地ならしを見物することにした。

と彼の面前に、陸軍航空兵中尉の制服を着けた士官が現れた

「それにお出になつて居る警官ッ、貴方は、本日は來賓の御資格ですか、但しは御取締の爲めの御出張であるのでありますか鳥渡お伺致します」頗る切り口上で而かも大きな聲である。

「我々は取締上出張して居るものであります」彼は言下に斯く答へた、彼は何ッ糞ッと云ふ意氣込みである、それからどうしたんだと云ふような態度を示した、彼は軍人が大嫌なのだ、殊に彼は士官は最も嫌であるのだ。

「そうでありますか、實は本航空隊に於て本日の運動會に提供してない地域が使用されたり、又一般公衆の入る可からざる地域に濫りに立ち入る者もあります、來賓なれば止むなき事でありますが、御役目の御出張なれば、之等に就いて充分の御取締が願ひ度いのであります」

「我々は本日は、本日の此の催しに對し所謂警察上の目的の爲めに臨場して居りますのでありまして、陸軍省や、航空隊の衞守の目的で出張して居るのではありませぬ、航空隊が御提供になつて居る以外の土地が使用されても、それは我々警察官の關知し得ない事項に屬します、それは本日の主催者と、航空隊との貸借當事者の問題でありますから、何卒本日の主催者側の方へ嚴重御交渉方可然くと存じます。倘一般人が立ち入る可からざる地域に濫入ることは許す可からざる事であります、御迷惑の程御察し申します、實に御氣の毒に存じます、が然かし官署たると、公署たると果た又一般民家たるとを問はず、自巳の領域内へ外部からの侵入を防ぐ等の事は、原則として各自が爲さればならぬのであります、仰せの通りの場合に警察官が一々之を取締るが如きは今日の警察組織では到底爲し能はざるところであります。貴方の御說の如き事に一々警察力を使用するが如きなれば一般民家に於ても、各戸毎に其の領域に警察官の出張を要するが如き事と相成る大第であります。獨り航空隊なるが故に警戒を要し、一般民家なるが故に之を等閑に附すると云ふ譯には參りませぬ。民家であると、官公署たるとを問はず、自守自衞は所有に對する原則であります、特に軍隊等には警衞に對する特別の機關がある可き筈であります、我々は本日は陸軍省や航空隊の警備の爲めに出張したものではありませぬので、幸ひ、今のところでは、警察上の事故もなく極めて平穩無事でありますから、萬一の爲に、最も會場を一望の内に鳥瞰し易き此の處に陣取つて居るのであります。」彼はこれだけ言ひ終つて、文句があるなら言つて見ろと言ふやうな面付きをした。

「この事に關しては署長と交渉がしてある筈です、貴方の方の署長とは非常に心易い間柄ですから……

「何の命令もありませぬ。又我々は命令があつても、命令權者の權限内に於て爲されたるものゝみに就いて活動するのでありまして、命令が適法なるや否やに就いてはそれを我々は充分檢討する自由を有して居ります、×××××、××、×××××××××××、××の權力でありますから、單なる交誼上や私情關係で發動するものではありませぬ然し貴方が署長に特別の交誼上から警察權をお借りになるのなれば、何卒其の本人にお交渉を爲さつて戴きます」

彼は極めて丁重に詞を結んだ中尉は膨れ面をしながら何處かへ消えて行つた、恰度其の時東軍が勝つたとかで、觀衆は大騷ぎである。

「兵隊と巡査との議論はよい取り組みだね」何處やらでこんな事を云ふ奴がある。

「巡査だつて運動會が觀たいやな、誰だつてよ」こんな聲も聞えて來る。

「巡査は警察の一兵卒だからなアーー」

「軍人と云ふ奴は軍隊内では威張つてゐるがなアーー」

「中尉殿と、一兵卒の喧嘩か」

「中尉殿大分警察の一兵卒に、引つ搔れたぜアハ……」なかなか失禮な事を云ふ奴がある、この手合は大方在營中、度々營倉の御厄介になつた連中かも知れない。

「ドーレ一廻りして來ようか」

彼は同僚の二、三を顧みた、

「應!」と答へて、其時に居た巡査達は、サーベルをガチャつかせながら出掛けて行つた。

（終り）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め・講座

社會主義講話（六）

石川準十郎

社會主義に對する不當な論難

社會主義は實に今迄（數回に亘つて）說明し來つたが如きものであつて、誠に人類の社會生活の一大福音であり、一大進歩なのである。所でこの社會主義の施行に對して今日尚多くの人々は種々の不當な疑惑即ち杞憂を抱き、屢々當らない論難を構へる。最後に我々はこの不當な論難の主なるもの三四に就て考へて見よう。

(一)社會主義の世の中になつても直に又金持と貧乏人との相違が出て來るだらうとの論難

我々は屢々聞く。成程社會主義と云ふものはさう云ふものなら宜いものだ。だが社會主義の世の中になつた所で、何等かの方法に於ての分配があるならば又直ちに金持ち貧乏人との相違が出來て、結局今の世の中と變りのないことになるだらうではないか——と。

この論難は稍々もすれば一應尤もに聞える。然しもう少し深く考へて見るならば、決して今の樣な金持階級と貧乏階級との對立が再現するものでないことが、容易に諒解されるであらう。

如何にも社會主義の世の中になつても何等かの方法に於ける消費物の分配が行はれる以上（この分配方法に就ては大體三通りあることは既に述べた所である）、其處にはその分配された所のもの即ち所得乃至所有を直ちに使消し消耗して了ふ者と反對にこれを貯蓄し蓄積する者とのある事は容易に考へられる所である。（而して社會主義はそれ迄兎や角干涉するものではない。）然しこれに依つて今日の如き貧富の懸隔が出來、再び今日の如き金持階級と貧乏人階級との對立が出來ると思ふのは、大きな間違ひである。

何故ならば、社會に於ける貧乏の存在原因を考へて見るが宜い。今日社會に斯の如き甚しき貧富の懸隔が存在し、從つて貧富の階級的對立の存在するのは我々の既に見たるが如く、餘剩價値の搾取及び經濟組織運用上の無駄に、即ち搾取及び無駄に、從つて結局生產機關の私有及び私營に基づいて居るのであつて消費物の私有に基づいて居るのではないのである。所で社會主義の世の中にあつては、×××××××××××××××××××××、×××××××××××××××。從つてそこには今日の如き貧富の懸隔の生ずる餘地は無いのである。

勿論そこにはその分配された所のものを、即ち所得乃至所有を直ちに使消して了ふ者と、これを蓄積するものとの間にある意味に於ける貧富の相違があると見られるであらう。がそれは今日に於けるが如き貧富の相違ではなくして、從つて階級的構成をなすものではなくして、それこそ眞の意味に於ける『享樂の即行』と『享樂の延期』との相違なのである。

(二)社會主義の世の中になつたら怠け者が增へるだらうとの論難

次に我々は又屢々『社會主義の世の中になつたら、さぞや怠け者が增えるだらう』との論難を聞く。而してこの疑惑乃至論難を起すについては大體二種の理由がある。

第一には、社會主義の性質の誤解よりして『社會主義即ち共產主義の世の中になれば、働かなくても食ふ權利がある譯だらうから、怠け者が增へるだらう』と考へるものであつて、この種の疑惑乃至論難の荒唐無稽に就ては既に述べた所である（本誌二月號參照）。而してこの種の論

難は何等重要をなすものではない。

第二には、社會主義の分配法の問題に關する懸念よりする論難であつて、「社會主義の世の中になつて分配が平等に行はれることになつたら、怠けようが一生懸命にならうが物質的に同じ譯だから、自然怠け者が多くなり、從つて勞働能率が減退するだらう」と云ふのである。而してこれは輕々に笑殺されない問題であり論難である。

然しそれは決して社會主義の劃時代的價値を左右する程重要なものではない。何故ならば我々はその作用（怠けると云ふ作用）を牽制し解消する方法を考ふることが出來るからである。既に我々の見たるが如く、平等分配と云ふことは、決して社會主義の決定された唯一の分配法ではない。そこには勞働能率に依る分配法もあり從つて我々はこの方法に依つてその作用を防止することを考へることも出來るのである。更に又他の方法例へば勤勉者にある社會的名譽乃至尊敬を與へることも考へ得るのである。加ふるに又我々はそれまでには更に社會道德の發達の力に期待することも出來るのである。

（三）社會主義の世の中になれば危險な若しくは不快な仕事に就く者が無いだらうとの論難

更に又我々は、前の論難と軌を同じうする所のある種の論難を屡々聞く。それは、「社會主義の世の中になつたら、各人の社會的勞働上の義務乃至權利が平等になるのだから、從つて危險な若しくは不快な（例へば糞便汲みの如き汚い）仕事に任ずる者が無くなるであらう。これは實に人類生活上由々しき問題ではないか」と言ふのである。

成程これも一應尤もな考へであるが、然しこれに就ても亦我々は前と同樣、その作用を牽制乃至解消する方法を講ずることが出來るのである。而してその最も有力なものと考へられるのは、社會勞働上の特殊義務年限制度である。

一體社會主義の世の中になれば、全社會は一大產業軍に編成され、子供、老人、病人を除く他は凡て一定の年程から一定の年程まで（例へば二十才なら二十才から、五十才なら五十才まで と云ふ風に）社會的勞働の義務を負ふのであるが、その年限中更に一定の年限を制定して、（例へば今日の軍隊制度に於けるが如く二十一才なら二十一才から二十三才なら二十三才まで二年間と云ふ樣に）特殊義務年限制度を凡てに課して一種の學校を兼ねる所の特殊產業勞働軍を編成し、これに依つて鑛山とか其他の危險な仕事及び糞便汲みとか其他の不快な仕事に任ずることが出來るのである。

軍隊制度化すると言つたら、極度に嫌ふ人々があるかも知れないが、事實社會主義なるものはある意味に於て今日の軍隊制度を（今日の軍隊制度の力の經濟的な組織運用法を）產業の上に持つて來るものなのである。

之に加ふるに我々は、その一方に機械の發達に基づく機械利用、及び社會感念の變化發達に基づく職業の貴賤觀念の消滅を期待することが出來るのである。

（四）過去に於ける共產團體の試みは皆失敗して居るではないかとの論難

最後に我々は歷史的知識のあ

社告

原稿募集

一月號の原稿を廣く募集する。評論、隨筆、詩歌、創作、全士戰報等。本誌に假令無名の青年と雖も其の論旨、聞くべきもののある時は喜んで之れを掲載する。全日本の同志諸君は溌溂たる闘爭意識を以つて其の思ふ所を記述せよ！　而して本誌一月號をしてブルジョアを戰慄せしむるに足るものたらしめよ！　締切日は十二月八日限り。但し全士戰報は成るべく簡にして要を得たるものを希望する。

支局募集

資本の攻勢愈々出でゝ愈々露骨なる今日、日本無產階級解放運動は七花八裂の混沌たる形狀を曝露してゐる。而して今や相互の闘爭の爲め第一義の任務たるべき無產階級の解放運動は第二義乃至は第三義として沒却されんとしてゐる。此の時、地方にある純眞眞面目なる同志諸君は奮然起つて其の本來の使命敢行に努力すべきである。此の機に際し我社は支局を全國的に募集し地方同志諸君の奮起を促す。諸君は地方に於ける社會運動の中心となり無產大衆解放の第一線に立たれんことを希望する。支局規定申込次第郵送す。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

る人々の間に『社會主義の志する所は成程宜いものである。然しそれは人間の本性に即して居ない疑ひがする。論より證據過去に於ける共産團體は凡て失敗して居るではないか』と云ふ論難を聞く。

如何にも合衆國及び其他に於ける近世共産團體乃至共産部落の試みは大部分失敗して居る。然しこの事は我々の主張する今日の社會主義に何等の關係も有するものでなく、毫も今日の社會主義の不信を立證するに足るものではない。何故ならば、我々の今日主張する社會主義なるものは、既に見來つたが如く、集産主義（全社會經濟組織の集中的統一的運用主義）の從つて大規模生産主義の主張なのであつてその反對の分産主義（分散的部分自給自足的經濟組織の運用法）の從つて小規模生産主義の主張なのではない。然るに過去の共産團體乃至共産部落なるものは皆必然的に分産主義（全社會的立場から見て）小規模生産主義だつたのであつて、從つて今日の我々の主張する社會主義にとつてよし多少敎訓的なものがあるとしても、然し何等の立證にもなるものではない。

（一）然るに我國の社會主義者の間に一頃『青森の尻屋岬の共産部落』がどうだとか、『大島の共産部落』がどうだとか恰かもそれが何か、近世社會主義の實行可能の立證にでもなるかの如く、はやし立てたことのあつたのは、ヘーゲル的形而上學的考へ方を脱して脱し切れなかつたマルクス辨證法を以つて近世無産階級運動の展開法則とはやし立てゝ居る最近の『辨證法流行』と共に、好一對の錯誤劇である。

（二）無政府主義は如上の分産主義從つて小規模生産主義を主張するものである。

私の社會主義講話は以上を以つて終とする。私の以上の講話は『主義としての社會主義』と云ふことを主眼としたものである。『主義としての社會主義』は種々のそれぞれの科學的學説を基礎としてその上に立つて居るものであつて、而してその基礎を形成して居る所の一々の學説に就て論述することは、始めより本講話の構想外にあつたものである。幸ひにして讀者諸君がこれに依つて『主義としての社會主義』の大體を諒解するを得ば私の以つて滿足とする所である。（完）

鈴ケ森だより

□

去月初旬宮崎氏より左の如き來信があつた。同君は蔣介石の友人にして年齢五十五、病軀を起こし北伐軍を援け、志を天下に行はんと大阪を去つて既に百有餘日。其の行蹤盛に推えず茲に記して革命軍の奮闘を偲ぶ。

啓上　貴信謝す、乾度諸賢の希望に副ひ青天白日旗と運命を共にすべく誓ふ。今徽安府に在り。昨日敵軍を破つて此處に來る。携へし飛機二發効を收む。戰線の擴大につれて日本の同志にして軍隊にありし者約三百名を要す。

過日貴兄援助の話を總司令に致せしに、喜び勇む。君來つて之れを援けよ。狹隘なる日本に於て右傾左傾の爭ひ是れ蝸牛角上の爭に非ずや。×××××××、××××××××××××××××××××××。

蔣總司令は偉丈夫也。日本に於ける社會主義者の如く小人物ならず、曾府に於て小膽謙を好むドロ幹の類に非ず、彼や今、自ら馬を陣頭に進めて全軍を指揮し、生死を省みず唯だ新社會建設の爲に急ぐのみ。

軍山規律嚴然、眞に革命軍の模範たり。戰へば必らず取る。討つて必ず走らす、一ヶ所に居る亦三日を出です。茫漠たる大平原、馬上月を眺めて君を想ふ。君夫れ健在なりや。終りに同人諸君の健闘を祈る。

十一月三日　九江にて

超　子　[illegible]

狂氏仁兄侍史

□

全國中で最も反動的色彩の濃厚なる滋賀縣に於いて、筋肉勞働をなしながら解放運動の爲め、寢食を忘れて奮闘してゐた本社同人吉田源藏君は、十一月十五日新聞紙法違反に問はれ突如收監された。彼等は同君を收監後家宅搜索××××××××××。

本社關係の同志にして彼等の××××された者、嚢に高知縣の支局同人小松俊榮君の不敬罪あり、島根縣の山根積君の新聞紙法違反あり、今亦吉田君の收監を聞く。獄舍への出入頻繁と云ふべし。×××××××××××××××××××××××××××。

九州の同志福永佐吉君は苦闘の結果病に侵され遂に逝かれた。同君生前の奮闘を偲び、涙新らたなるものがある。我等の前途には種々なる障害がある。されど、×××××××××××××××、×××××××××、勇往邁進せん。（福田）

大阪市外大仁七〇
大阪電球株式會社
電話土 二一六〇 二一六一
佐堀長 三八二一 三八二二

農民運動の急先鋒
山根積編輯
月刊
小作人
一部五錢 一年五拾錢
島根縣能義郡母里村
山崎豐定方
小作人社
振替大阪七六九九二番

中國無產階級言論機關
週刊
中國評論
一部五錢 一ヶ月貳拾錢
吳市外天應
中國評論社

農民解放戰鬪雜誌
一月創刊
農民
一部拾錢
長野縣北安曇郡平村
傘木幸盛方
農民社

原稿募集！
評論、詩歌、等〆切十二月十日限り

現實派の戰鬪機關紙
半月刊
勞民新聞
一部五錢 一ヶ月拾錢
長崎市目覺町一八
勞民新聞社

失業問題叢書 全五卷
失業勞働者同盟
失業對策同志會 編纂
（一冊平均三百二十頁 定價一冊一圓八十錢）

斯界の權威盡く執筆

一日に二千人づゝ增加してゐる失業者の群は、今や三百五十萬人を突破して、その危險なること飢へたる狼の大群を想像さる。されば飢へなく富める者よ今や汝自身の爲、すみやかに飢へたる者を救ふべきである。

豫約募集 申込金不要
期日十二月十日マデ
內容見本進呈

東京市外池袋二一六
失業問題叢書刊行會
振替東京七五一八〇番

失業問題の百科辭典

十二月十日より每月一冊五ヶ月完了

大阪日本橋……實用百貨……名古屋

松坂屋呉服店

東京銀座……良品廉賣……上野

Head office: Su-su-me-Sha
1890, Oimachi near Tokyo, Japan The Su-su-me (The Socialist Monthly) Vol. IV No. 12 December 1926

混沌たる我國社會運動に一道の光明を齎らす無産大衆の言論機關！

主幹 赤松克麿

民衆新聞

支局募集
全國各地に募集す希望者は至急申込まれたし

月二回發行 定價一部二錢

東京市芝區新堀町三十一番地
民衆新聞社
振替東京四八五一二番

長尾桃郎
桑田次郎 共著

交通勞働運動の過現

四六版 六百五十頁

定價 上製三圓五十錢 普及版壹圓五十錢

日本交通勞働運動の歴史を赏々六百五十頁の大册に盛り、一切を網羅し、將來を暗示して餘蘊なきものである。日本に於ける交通勞働運動の歴史を知らんとする者は是非一讀するの必要がある。

發行所 東京市京橋區銀座弓町一 クラルテ社
取次所 東京市外大井町鈴ヶ森海岸一八九〇 進め社

御買物は常に丸菱

丸菱呉服店

東京驛前
丸ビル

御便利な商品券

清新な趣味と實用に綾なす

內外のあらゆる流行品豊富

地方よりの御註文は御手紙にて通信販賣部宛に御願ひ申します

三越呉服店

大阪市高麗橋

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可 毎月一回一日發行
大正十五年十二月一日發行 同年十二月廿八日納本
定價一部十錢（郵五厘）半年六十錢一年一圓（税共）
廣告料 一行 一圓 一頁 三十圓
發行所 東京市外大井町鈴ヶ森海岸一八九〇（振替東京六九五四三） 進め社本部
發行編輯兼印刷人 福田狂二 大阪市東淀川區十三南之町 大阪發賣所